

市 民 交 流 課

○ 男女共同参画関係

1 男女共同参画情報紙発行事業

男女共同参画に関して広く市民に情報発信するため、公募市民5人の企画編集による情報紙「れいんぼう」を2回発行した。

(1) 編集会議 4月～3月まで25回の編集会議と2か所の取材活動

(2) 内 容 A4・2色・4ページ

号 数	発行月	配布方法	発行部数	テーマ
第22号	20. 9	各戸配布	52,000 部	仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス) I
第23号	21. 3	各戸配布	52,000	仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス) II

2 男女共同参画推進都市事業

(1) 男女共同参画推進事業委託

「伊勢市男女共同参画都市宣言」「伊勢市男女共同参画推進条例」の理念を広く市民に周知するとともに、男女共同参画社会の実現を目指した取組を行った。

なお、企画運営については、公募市民12人で組織する「男女共同参画れいんぼう伊勢」と協働で行った。

ア パートナーの日の啓発推進

男女がお互いを思いやり、感謝する「パートナーの日（8月17日）」を広く市民に周知するため、啓発事業を行った。

①啓発品配布

回 数	開催日	開催場所	内 容
第1回	20. 7. 14	小俣町 ぎゅーとら小俣店	啓発用ティッシュの配布
第2回	20. 7. 15	藤里町、神田久志本町 ぎゅーとらラブリー藤里・神田久志本店	
第3回	20. 7. 18	船江3丁目 ぎゅーとらハイジー店	
第4回	20. 8. 1	外宮 ゆかたまつり会場	

②講演会

開催日	開催場所	内 容	参加人数
20. 8. 9	ハートプラザみその 多目的ホール	ピーター・フランクル講演会	人 300

イ 市民ワークショップの開催

各地域に出向き、市民ワークショップを開催し、家庭・職場・学校・地域の中で男女が性別にとらわれず自分らしく生きる方策について話し合った。

回 数	開催日	開催場所	参加人数
第1回	20. 10. 22	小俣町 大久保自治区公民館	人 22
第2回	20. 11. 14	楠部町 四郷小学校	22

ウ 男の料理教室

家庭生活における男女共同参画を目指して、簡単にできる男性の料理教室を開催し、家庭生活に対する男性の参画を促した。また、男女ペアによる料理&おしゃれ教室も開催した。

内 容	開催日	開催場所	講 師	参加人数
男の料理教室	20. 6. 28	ハートプラザみその 栄養指導室	男女共同参画 れいんぼう伊勢	人 19
男女ペアによる料理& おしゃれ教室	20. 12. 6	いせトピア 調理室 学習室2	男女共同参画 れいんぼう伊勢	18

エ 生活講座の開催

自分らしく生きるための生活講座を開催し、男女の家庭生活の自立を促した。

テーマ	開催日	開催場所	講 師	参加人数
自分らしく生きるための 生活講座	20. 10. 27	伊勢市役所 本庁舎 4-5 会議室	久保下 多美子 (NPO法人ほっと サポート理事長)	人 26
心と体の リフレッシュ講座	21. 3. 15	ハートプラザみその 教養娯楽室	落語：切磋亭琢磨 ストレッチ体操： 辻出美香	31

オ 企業訪問の実施

男女共同参画に関する企業の状況を把握するため、企業訪問を行った。

訪問日	企業名	調査項目数
21. 2. 5	(株)ITV	8項目
21. 2. 10	(株)ぎゅーとら	8項目

(2) 男女共同参画審議会の開催

男女共同参画基本計画（れいんぼう計画）に基づいた男女共同参画の推進に関する施策の実施状況について、審議した。

回数	開催日	開催場所	内容
第1回	20. 6. 25	市役所東庁舎 4-2 会議室	各課の取組状況について
第2回	21. 3. 23	市役所東庁舎 4-2 会議室	各課の取組状況結果について

(3) 人材育成講座の開催

社会のあらゆる場で、男女が個々の能力を発揮できる力を身につけ、男女共同参画を理解してもらうため、人材育成講座（れいんぼう講座）を開催した。

回数	開催日	テーマ	講師	場所	参加人数
第1回	21. 1. 18	接遇・相手との接し方	(株)Will Staff 長谷川 聡子	市役所東庁舎 4-3 研修室	人 15
第2回	21. 1. 25	プレゼンテーション養成講座 I	(株)Will Staff 長谷川 聡子	市役所東庁舎 5-2 会議室	15
第3回	21. 2. 1	プレゼンテーション養成講座 II	(株)Will Staff 長谷川 聡子	市役所東庁舎 4-3 研修室	14
第4回	21. 2. 8	男女共同参画について	三重大学人文学部 准教授 石坂 督規	市役所東庁舎 4-3 研修室	12

○ 市民交流関係

1 市民活動促進事業

(1) いせ市民活動センター指定管理者制度

平成16年4月、産業部観光課から施設の移管を受け、公設公営でセンターを稼働し、平成16年7月から、指定管理者制度を導入して公設民営により稼働している。平成21年度からの3カ年の指定管理者を選定した。

期 間	委 託 金 額	指定を受けた管理者
<第1期> 自 16. 7. 1 至 17. 3. 31	円 7,828,000	特定非営利活動法人 いせコンビニネット

<第2期> 自 17. 4. 1 至 21. 3. 31	円 48,202,000	特定非営利活動法人 いせコンビニネット
<第3期> 自 21. 4. 1 至 24. 3. 31	46,777,000	特定非営利活動法人 いせコンビニネット

(2) 事業の内容

ア いせ市民活動センター運営事業

- ・市民活動の拠点として、また中間支援施設としての市民公益活動の相談、ホームページ (<http://skc.e-ise.net>)、情報誌(「パルティ」年4回発行)等を活用し市民活動に関する情報の収集及び提供等
- ・交流事業などを通して、さまざまな団体と結びつき、広く市民活動への理解を深める。

期 日	内 容
20. 7. 12	第1回いせ市民活動センター登録団体交流会 開催
20. 7. 27	チャリティコンサート ストリートダンスシップホップ 開催 防災しみんの会へ募金
20. 8. 24	音楽創作広場 第3回ミュージックコミュニケーション 開催 まちづくり(いせ市民活動センター事業)へ募金
21. 3. 24	音楽創作広場 第4回ミュージックコミュニケーション 開催 市民活動へ募金
21. 3. 28	いせ・松阪・伊賀・津 eparts リユースPC 寄贈プログラム

- ・ワーキングスペースに印刷機、コピー機、レンタルPC(センター内の利用に限る)を設置。また、会議スペース、フリースペース、情報スペースを開放し市民活動を支援。同時に、市民活動支援パソコン講習会等も開催。

イ センター管理業務

施設利用の登録、使用許可及び施設・設備及び機器の維持管理
(施設稼働状況)

	北 館				利用者数	南 館	
	平均稼働率					平均稼働率	利用者数
	多目的 ホール	A会議室	B会議室	1 F ホール			
19. 4. 1 ～ 20. 3. 31	% 37.4	% 33.3	% 35.5	% 19.8	人 47,898	% 27.5	人 16,808

20. 4. 1 ～ 21. 3. 31	%	%	%	%	人	%	人
	41.5	38.2	42.2	16.8	48,152	27.6	16,247

※平均稼働率・・・稼働実績時間数／稼働可能時間(11時間)×稼働可能日数

(登録団体数)

基準日	登録団体数
16. 7. 1	59 団体
18. 3. 31	82
19. 3. 31	102
20. 3. 31	113
21. 3. 31	127

(3) 協働事業の実践

本事業は、市民主体のまちづくりを目指し、伊勢市といせ市民活動センター（市民活動の中間支援施設）の指定管理者であるいせコンビネットが、市民と協働で実施するモデル事業として実施した。平成17年度、協働事業協定書を締結し、「伊勢市防災しみんの会」を設立した。

ア 災害ボランティアネットワークに関する検討

平成16年9月、台風21号により甚大な被害を被った経験を教訓に、「災害に強いまちづくり」を目指し、市民ネットワークの構築、各種事業を検討。平成17年10月、「伊勢市防災しみんの会幹事会」を設立。平成18年度に市長へ提言書を提出し、学校の総合教育にも参加。平成20年度は災害時のボランティアセンター設置に関する検討会を開催した。

主なメンバーは、伊勢志摩NPOネットワークの会、いせ市民活動センター、伊勢市社会福祉協議会、伊勢市ボランティア連絡協議会、県防災ボランティアコーディネーター養成協議会、鷺ヶ浜防災クラブ、危機管理課、市民参画交流課。

期 日	内 容
20. 6. 26	第1回伊勢市防災しみんの会 講演会・ボランティアセンター検討会の準備会
20. 7. 22	第2回伊勢市防災しみんの会 講演会・ボランティアセンター検討会の準備会
20. 8. 21	第3回伊勢市防災しみんの会 講演会・ボランティアセンター検討会の準備会
20. 9. 16	第4回伊勢市防災しみんの会 講演会・ボランティアセンター検討会の準備会
20. 10. 24	第5回伊勢市防災しみんの会 講演会・ボランティアセンター検討会の準備会
20. 11. 20	第6回伊勢市防災しみんの会 講演会準備会議

20. 11. 27	第1回講演会「ボランティアセンターって何？」講師：山本康史 場所：伊勢シティプラザ
20. 12. 12	第2回講演会「ボランティアセンターが必要になる災害とは？」 講師：危機管理課 防災アドバイザー 竹内一彦 氏
21. 1. 8	講演会ふりかえり&検討会議準備
21. 2. 12	第1回伊勢市防災しみんの会 検討会議
21. 2. 20	第2回伊勢市防災しみんの会 検討会議
21. 2. 26	第1回、第2回検討会議 ふりかえり会議&提言まとめ会議
21. 3. 13	提言まとめ会議

イ ボランティア登録システムの構築事業

近年、様々な分野でボランティア活動の関心が高まっていることから、平成 19 年度にボランティア登録システムを構築した。平成 20 年度は、ボランティア登録システムへの登録募集イベントを実施するとともに、市民活動団体がボランティアを募集する際に活用した。

20. 4. 17	第1回検討会議
20. 5. 20	第2回検討会議
20. 6. 23	第3回検討会議
20. 8. 7	第4回検討会議
20. 9. 5	第5回検討会議
20. 11. 26	第6回まとめ会議

ウ 「大人のこだわり・充実生活をめざして」事業

団塊の世代といわれる人々が定年退職を迎える時期にあたり、退職後生き甲斐をもって元気に生活してもらうための事業として実施した。

平成 19 年度には、団塊の世代を対象としたボランティア初心者向けに講演会を開催。平成 20 年度は、団塊の世代に市民活動団体の活動を紹介することで、今後ボランティア活動など社会貢献活動に参加できる基盤づくりを目指した。

20. 10. 4~10. 5	団塊の世代向け市民活動団体発表会 場所：伊勢市民おおまつり会場（ブース出展） 活動発表団体：15 団体
-----------------	---

2 活性化活動事業

市内に活動拠点を置く地域グループや活動団体が、元気で活気溢れる地域づくりに貢献し市民自治の担い手として活動を継続的に続けるために、その経費の一部を補助した。選考は平成 20 年 5 月 25 日に公開プレゼンテーションを実施し、審査員（民間及び学識経験者から 5 名、県職員 1 名を委嘱）が審査し決定した（申請団体 16、決定団体 15）。

補助金の補助率は対象経費の 10 分の 8 以内、限度額は 10 万円までで交付した。

(対象事業)

保健・医療又は福祉の増進、子どもの健全育成、社会教育、まちづくりの推進、学術・文化・スポーツの振興、環境の保全、災害救援、地域安全、人権の擁護又は平和の推進、国際協力、男女共同参画社会の促進、雇用機会の拡充支援、情報化社会の発展等

平成20年度交付団体 (15 団体)

団体名	交付額	事業内容
アイリッシュ・ネットワーク・ジャパン三重支部	円 100,000	第6回セント・パトリックスデーパレード伊勢
いすずウキウキクラブ	100,000	いすずウキウキクラブ教室
伊勢市シーンボイスサポート会	71,000	視覚障害者を対象とした「映画の音声ガイド」
伊勢志摩きらり千選実行グループ	51,000	伊勢志摩きらり千選
伊勢商工会議所青年部	100,000	第3回伊勢っ子ものしり王選手権
NPO朝熊山麓に花を咲かす会	100,000	春の花まつりと種蒔
大湊弥栄 (いやさか) 絵手紙の会	100,000	絵手紙の練習及び作品の贈呈や展示
おはなしサークル (和一なごみ)	88,000	絵本の普及活動
おひなさまめぐり i n 二見実行委員会	100,000	第5回「おひなさまめぐり i n 二見」歓迎横断幕製作
神宮奉納全国高齢者チア・アップ伊勢大会実行委員会	100,000	全国高齢者チア・アップ伊勢大会
たんぼぼ読書会	100,000	早乙女 勝元氏の平和を語る講演会
特定非営利活動法人 神社みなとまち再生グループ	100,000	第2回伊勢・二見浦シーカヤックマラソン大会
特定非営利活動法人 ライフアカデミー	100,000	ハートフルコンサート
二見浦わいわい元気塾桜まつり実行委員会	100,000	二見浦さくらまつり
よさこいふたみ実行委員会	100,000	第2回よさこいふたみ会場設営
合計	1,410,000	

3 伊勢のまつり開催事業

1 伊勢市民おまつり

113年の歴史があった、伊勢おまつりの組織体制を一新し、市民主体の実行委員会を立上げ企画運営した。

開催日については、実行委員会で検討の結果10月4日(土)から5(日)、17日(金)と決定し、山田地区、宇治地区で開催をした。

内容については、前年までのおおまつりを踏襲したもので、伊勢音頭などのパレードや踊りを実施した。2日目があいにくの天候となったが、来場したみなさんは新しい祭りを楽しんだ。

観客数 129,000人

4 いせ市民活動センター施設整備事業

いせ市民活動センター駐車場の路面は老朽化しており、雨天時に利用者が滑りやすく危険なため舗装工事を行った。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
岩渕1丁目 地内	いせ市民活動センター駐車場 舗装工事(注)	舗装工 175.0 m ²	円 1,644,300	20.12.19	21. 2. 2

(注) 維持課施行

5 コミュニティ助成事業

(財) 自治総合センターが、宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源として、コミュニティ活動に助成を行うことにより健全育成を図り、宝くじの普及広報を目的とする。コミュニティ組織である自治会に一般コミュニティ事業補助金を交付した。

交付決定自治会 26 自治会

交付決定額 40,700 千円

自治会名	補助金額	事業名
有滝町会	円 1,300,000	太鼓購入
磯町自治会	1,500,000	祭り用具購入
一字田町町内会	1,300,000	放送設の整備
一志町内会	2,500,000	祭り用具購入
岩渕町連合会	1,600,000	祭り用具購入
上地区会	2,500,000	やぐら購入
大倉うぐいす台自治会	1,100,000	健康推進用備品購入
大湊町振興会	1,000,000	視聴覚機器購入
小俣町南本町自治会	1,100,000	自治会広報用備品購入
柏団地自治会	1,300,000	健康推進用備品購入
柏町会	1,200,000	レクリエーション活動用備品
樫原町会自治会	2,500,000	太鼓購入
鹿海町自治会	1,500,000	視聴覚機器購入
川端町会	1,000,000	簡易倉庫の整備
楠部町自治会	1,300,000	視聴覚機器購入
黒瀬町自治会	1,400,000	文化・学習活動用備品購入
下小俣自治会	2,000,000	祭り用具購入
昭和苑自治会	1,200,000	祭り用具購入

曾祢町連合町会	円 1,500,000	祭り用具購入
高向区	1,400,000	自治会活動用備品の購入
茶屋区	1,600,000	神輿購入
辻久留町自治会	2,000,000	視聴覚機器購入
土路区町会	2,500,000	放送設備の整備
東豊浜町西条自治会	1,300,000	祭り用具購入
馬瀬町内会	1,200,000	神輿購入
宮後町会	1,900,000	祭り用具購入
合計	40,700,000	

6 元気なまちづくり協働事業

市と自治会が協働して地域社会の活性化を図るため、自治会が主体的に取り組む事業に対して、補助した。補助金の限度額は、対象事業費に対して3分の2を乗じた額か、世帯割に応じて積算された額を比較し、いずれか低い額を限度額として交付した。

(対象事業)

- ① 地域に根ざす伝統文化の継承事業
- ② 地域の特性を生かしたイベントなどの地域おこし事業
- ③ 地域内の清掃美化等の環境保全事業
- ④ 補導や啓発、巡視活動等の青少年育成事業
- ⑤ 訓練や啓発、巡視活動等の防犯・防災事業
- ⑥ 少子高齢化社会対策やバリアフリー社会実現のための社会福祉事業
- ⑦ 住民の交流を通じ、地域コミュニティを活性化するための地域交流事業
- ⑧ その他市長が特に必要と認める事業

・平成20年度対象自治会 172 自治会

- ① 交付申請・決定自治会 129 自治会
- ② 交付申請・交付決定額 7,632 千円

○ コミュニティセンター関係

1 地区コミュニティセンター維持管理経費

コミュニティセンター使用状況

豊浜・城田・沼木・神社・北浜・浜郷・宮本・大湊地区コミュニティセンターについては、地域の会合、生涯学習・スポーツ課の出前講座など地域のコミュニティや生涯学習の場として活用されている。

(1) 豊浜地区コミュニティセンター (H20. 4. 1～H21. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
113	5	118	1,418	119	306

(2) 城田地区コミュニティセンター (H20. 4. 1～H21. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
96	23	119	1,992	824	2,126

(3) 沼木地区コミュニティセンター・農村環境改善センター (H20. 4. 1～H21. 3. 31)

会議室利用状況					図書室利用状況	
会議室	生活研修室	営農相談室	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	件	人	人	冊
29	43	10	82	1,231	180	331

(4) 神社地区コミュニティセンター (みなとサービスセンターに併設) (H20. 4. 1～H21. 3. 31)

図書室利用状況	
貸出人数	貸出冊数
人	冊
371	802

(5) 北浜地区コミュニティセンター (H20. 4. 1～H21. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
93	39	132	2,061	605	198

(6) 浜郷地区コミュニティセンター (H20. 4. 1～H21. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
181	9	190	4,221	50	257

(7) 宮本地区コミュニティセンター (H20. 4. 1～H21. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
227	140	367	3,587	215	692

(8) 大湊地区コミュニティセンター (H20. 4. 1～H21. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
60 件	47 件	107 件	1,958 人	155 人	437 冊

(9) 四郷地区コミュニティセンター (H21. 3. 30～H21. 3. 31) ※図書室はH21. 4. 1開館

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
0 件	0 件	0 件	0 人	— 人	— 冊

2 宮本地区コミュニティセンター駐車場舗装工事

この土地については、維持課から譲渡を受けたものであり、現在も駐車場として利用している。また、市内の支所の中でも地域住民の利用率が高いことから、現在未舗装であるため早急に舗装した。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
前山町 地内	宮本地区コミュニティセンター 東側駐車場舗装工事	排水工 20.0m 舗装工 108.0 m ²	円 1,134,000	20.11.7	20.12.9

3 四郷地区コミュニティセンター新築事業

四郷地区コミュニティセンターについては、四郷小学校の敷地内に小学校施設との複合施設として建設。

(1) 委託関係

施行場所	委託業務名	委託概要	金額	着手	完了
楠部町 地内	(注1) 伊勢市立四郷小学校特別教室 棟改築工事監理業務委託	鉄筋コンクリート造 2階建 延べ床面積 594.45 m ²	円 (注2) 886,340	20.8.8	21.3.13

(注1) 建築住宅課施行

(注2) 教育総務課と合併施行

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
楠部町 地内	(注1) 伊勢市立四郷小学校特別 教室棟改築工事 (建築工事)	鉄筋コンクリート造 2階建 延べ床面積 594.45 m ² 建築面積 316.08 m ² 特別教室棟改築工事 一式 運動具倉庫設置工事 一式	円 (注2) 74,311,808	20.8.8	21.3.13
〃	(注1) 伊勢市立四郷小学校特別 教室棟改築工事 (電気設備工 事)	鉄筋コンクリート造 2階建 延べ床面積 594.45 m ² 建築面積 316.08 m ² 電気設備工事 一式	(注2) 7,064,836	20.8.8	21.3.13

楠部町 地内	(注1) 伊勢市立四郷小学校特別 教室棟改築工事(機械設備工 事)	鉄筋コンクリート造2階建 延べ床面積 594.45 m ² 建築面積 316.08 m ² 給排水衛生設備工事 一式 空調設備工事 一式	円 (注2) 11,012,048	20. 8. 8	21. 3. 13
-----------	--	--	-------------------------	----------	-----------

(注1) 建築住宅課施行

(注2) 教育総務課と合併施行

○ 自治会関係

1 地区連絡員事業

市行政における住民との相互連絡等の事務を行った。

- (1) 市の広報紙等の配付(月1回)
- (2) おしらせ版等の配布(月1回)
- (3) その他市長が特に必要と認める職務

平成20年3月31日現在の世帯数で報酬額を算定

最多世帯数 一之木地区 1,356世帯 最少世帯数 ライブリーシティ前山 8世帯

平均世帯数 304世帯 (報酬総額 100,280,200円)

2 区長謝礼事業

市内172自治会の活動について、行政委員等その候補者推薦業務等、依頼事項に対する謝礼を交付した。

(報償費総額 7,190,000円)

3 振興助成金事業

市内172の地区の円滑な運営と健全な自治会活動を推進するため助成金を交付した。

	自治会数	対象世帯数	振興助成金		
			平等割	世帯割	合計
本庁	50	19,541	円 2,500,000	円 6,839,350	円 9,339,350
支所	71	18,895	3,550,000	6,613,250	10,163,250
二見総合支所管内	10	3,240	500,000	1,134,000	1,634,000
小俣総合支所管内	27	7,051	1,350,000	2,467,850	3,817,850
御園総合支所管内	14	3,562	700,000	1,246,700	1,946,700
合計	172	52,289	8,600,000	18,301,150	26,901,150

○ 国際交流推進事業関係

1 国際交流推進事業

市民ボランティア及び外国籍を持つ人々と「ともに暮らす国際交流のまちづくり」を推進した。

(1) 外国人住民への支援

ア 外国人研修制度により来日した中国人研修生対象の説明会の開催

①防災について一災害要援護者である外国人対策の一環として、危機管理課と共に開催

- ・日時 平成20年4月24日(木)、10月2日(木)
- ・場所 いせ市民活動センター2階

②地域社会の実情について一日本の生活習慣、ゴミの出し方等、小俣総合支所生活環境課と共に開催

- ・日時 平成20年12月6日(火)
- ・場所 小俣宮前地区学習等供用施設

イ 外国人のための生活ガイドの翻訳

伊勢市で生活する外国人住民の日常生活の利便を図るため、基本的な情報を掲載した「伊勢市生活ガイド」の中国語の翻訳を行った。

ウ 三重県市町多文化共生ワーキングへの参加

増加し続ける県内の外国人住民と共生する施策を考えるための多文化共生ワーキングが三重県及び10市のメンバーにより設置され、計8回参加した。

昨年度の市町役場の窓口において使用する「指差し会話集」に続き、多言語訳の「外国籍児童生徒用の職業案内」の作成に着手した。

(2) 国際交流関係

ア 伊勢市国際交流協会

国際交流事業を総合的かつ効率的に行うことにより、市民と外国の人々との国際交流及び国際親善の促進及び国際相互理解の増進を図り、もって文化その他の分野において世界に貢献して世界平和の理念の達成に資するとともに、国際感覚あふれるまちづくりに寄与することを目的とし、活動している。市は、事務局としてその活動を支援し、市民とともに伊勢市の国際化に関する事業を推進している。

主な事業 ・外国人住民のための日本語教室

- ・国際理解講座
- ・ホームステイ事業 (財) 国際交通安全学会への協力
- ・世界の文化の紹介イベント
- ・伊勢市駅前ボランティアタウンガイド
- ・会報誌発行 等

平成21年3月末会員数 個人会員118名、団体会員11団体、企業会員5企業

イ 21世紀東アジア青少年大交流計画（ベトナム第3陣）の受入

大規模な青少年交流を通じてアジアの強固な連携にしっかりとした土台を与えるとの観点から、国により実施される相互理解と友好関係の促進を目的とした交流プログラム。

その一環として平成20年度ベトナム第3陣のグループ別プログラムの企画、実施を（財）日本国際協力センターと協力協定書を締結し実施した。

①期間 平成20年6月26日（木）～7月1日（火）6日間

②受入人数 23人（中学生20人、引率者3人）

③実施内容 五十鈴中学校及び北浜中学校との学校交流、副市長訪問、ホームステイ
施設見学（伊勢市消防署、伊勢広域環境組合、河崎商人館、美和ロック玉城工場）

2 豪州中学生派遣交流事業

オーストラリア・ゴールドコースト市で現地家庭でのホームステイ、現地学校での語学研修や交流授業、文化交流等を通して、国際理解を深め、国際的視野と高い市民意識を持った青少年を育成することを目的に中学生を派遣した。

(1) 対象者・派遣期間等

ア 対象 伊勢市在住の中学3年生

イ 期間 平成20年8月17日（日）～25日（月）9日間

ウ 派遣先 オーストラリア・ゴールドコースト市

エ 派遣者数 24人

(2) 選考審査、事前・事後研修

ア 選考審査 作文・面接・英語筆記・リスニング

イ 事前・事後研修 事前研修：英会話、オーストラリア及び伊勢市についての学習（自由研究含む）
ホームステイのマナー、かえる踊りの練習等

事後研修：市長報告会、感想文、写真、日誌等の提出

(3) 市負担分等

派遣に要する費用の約3分の1を助成し、本人負担の軽減を図った。

総費用（1人あたり） 298,900円

内訳：市助成額 106,900円 個人負担金額 192,000円

○ 地域内分権推進関係

1 地域内分権推進事業

「ふるさと未来づくり」を推進するにあたって、市役所と地域とのパイプ役として各小学校区に配置した「地区担当職員」が地域で懇談会を行い、取り組みに対する地域住民の理解促進を図った。

さらに地域リーダー養成のための研修会や、市民の自治意識啓発のための講演会を開催した。

(1) 「地区担当制」の導入

市と地域とのパイプ役として各小学校区に市職員（地区担当職員）を3名程度配置し、行政情報の提供及び地区情報の収集を行うとともに、「地区みらい会議」（仮称）の設立に向けて地域自らのまちづくりを支援した。

また、各地区の取り組み状況の把握と情報交換、相互調整を行うため、各地区の班長で組織した「地区担当者会議」を随時開催した。

ア 地区担当者数

課長級職員 75 人（内訳：二見・小俣・御薊学区は各4人、その他学区各3人）

イ 地区担当者会議

第1回

開催日 平成20年6月23日（月）

内 容 地区での活動の現状報告

第2回

開催日 平成20年8月7日（木）

内 容 地区での活動の現状報告

地区情報の収集について

第3回

開催日 平成20年10月20日（月）

内 容 地区の実情報告及び情報交換

・地区みらい会議（モデル含め）設立に向けての地区の意向

・地域リーダー等人材の有無

・地域間の連携

・地域課題の有無

まちづくり人材養成講座の受講について

第4回

開催日 平成21年2月2日（月）

内 容 各地区活動状況の情報交換

ふるさと未来づくりモデル事業の状況について

地域との協働事業調査について

(2) 広報活動

ケーブルテレビで随時「ふるさと未来づくり」の概要を伝えるとともに、「広報いせ」でもシリーズで「私たちの地域だから、私たちがやりたいことがある」と題して「ふるさと未来づくり」の概要を伝えた。

(3) 研修会、講演会等の開催

ア 地区担当職員事前研修会議の開催

地区担当職員が、それぞれの地域で「地区みらい会議」の立ち上げに向けてサポートするための職員研修会を開催した。

第1回

開催日 平成20年5月1日(木)
開催場所 伊勢市役所 本庁舎4-4・4-5会議室
講師 市長、副市長、生活部長、地域内分権推進課長・係長
参加者 地区担当職員 75人

第2回

開催日 平成20年5月16日(金)
開催場所 伊勢市役所 本庁舎4-4・4-5会議室
講師 名張市生活環境部資源循環型社会推進担当監
名張市生活環境部まちづくり推進室副室長
生活部長、地域内分権推進課長・係長

参加者 地区担当職員 75人

イ 「まちづくり人材養成講座」の開催

「ふるさと未来づくり」を進めるための知識や手法を習得し、地域に根ざした創造性豊かなまちづくりの推進役となる人材を養成するため講座を開催した。

第1回 「コミュニティ概論」

開催日 平成20年10月24日(金)
開催場所 いせ市民活動センター 多目的ホール
講師 愛知学泉大学コミュニティ政策学部 伊藤雅春 教授
参加者 一般公募、自治会関係者、地区担当職員 66人

第2回 「地元学」

開催日 平成20年11月15日(土)
開催場所 小俣公民館3階講堂
講師 東京農工大学 福井 隆 客員教授
参加者 一般公募、自治会関係者、地区担当職員 55人

第3回 「実践者との交流」

開催日 平成20年12月13日(土)
開催場所 いせ市民活動センター 多目的ホール
講師 三重中京大学 特別任用所員 松本圭史 講師
松阪市てい水まちづくり協議会会長
伊賀市上野西部地区住民自治協議会会長

いなべ市ほうすけクラブ代表

参加者 一般公募、自治会関係者、地区担当職員 51人

第4回 「会議進行術講座」

開催日 平成21年1月24日(土)

開催場所 いせ市民活動センター 多目的ホール

講師 NPO法人伊勢志摩NPOネットワークの会
事務局次長 川村 透 さん

参加者 一般公募、自治会関係者、地区担当職員 55人

第5回 「ワークショップ体験」

開催日 平成21年3月9日(月)

開催場所 伊勢市生涯学習センター いせトピア 研修室1・2

講師 愛知学泉大学コミュニティ政策学部 伊藤雅春 教授

参加者 一般公募、自治会関係者、地区担当職員 66人

ウ 「これからの自治のあり方」講演会の開催

新たな住民自治のしくみづくりとしての「ふるさと未来づくり」や自治基本条例の策定に向けた取り組みに対する理解を更に深め、市全体の気運の醸成を図るため講演会を開催した。

開催日 平成21年1月9日(金)

開催場所 ハートプラザみその 多目的ホール

講師 「これからの時代における自治のあり方について」
東京大学 大森 彌 名誉教授

参加者 一般市民、自治会関係者、各種団体、市議会議員、職員等 合計290人

(4) 「ふるさと未来づくり」モデル地区の選定

ふるさと未来づくり推進計画を検証するため、地域の実情調査の結果等に基づき、厚生学区をモデル地区に選定した。また、厚生学区に人的支援、財政支援を行い、地域主体のまちづくりを推進するとともに、ふるさと未来づくりに対する市民の理解促進と気運の醸成を図った。

2 伊勢市総連合自治会事務

伊勢市総連合自治会は、各自治会による自治活動について連絡協議し、自治会相互の親睦と市民の福祉増進に努めるとともに、市政の発展に寄与することを目的として活動しており、その事業活動を支援するため補助金を交付した。(補助金 1,430,000円)

3 地縁団体等関係

地方自治法第260条の2の規定に基づき、自治会等地縁による団体の法人格取得について、認可事務を行った。

平成20年度 地縁団体認可団体数 3団体(累計認可団体数59団体)

○ 合併調整関係

1 伊勢市総合支所連絡会議

各総合支所相互及び本庁との連絡調整を行い、市行財政の適正かつ効率的な遂行を図るため「伊勢市総合支所連絡会議」を設置している。構成員は副市長を座長とし、総合支所長、合併調整室長、財務政策部長、総務部長及びあらかじめ市長が指名したもので組織し、平成 20 年度に開催した各会議の案件は下記のとおりであった。

開催日	案件
20. 4. 16	第 28 回総合支所連絡会議 ○報告事項 ごみ収集、処理関係の調整項目の現状について ○協議事項 伊勢市地域審議会の次期委員の選任について ○その他 総合支所長の権限について 格差是正の進行管理について
20. 5. 28	第 29 回総合支所連絡会議 ○付議事項 伊勢市公園使用料の変更について 福祉医療費支給事業における入院時食事医療費の助成廃止について ○協議事項 伊勢市地域審議会の次期委員の選任について 格差是正項目検討スケジュール（案）について
20. 7. 14	第 30 回総合支所連絡会議 ○付議事項 農業委員会委員選挙区割の変更について ○報告事項 格差是正検討項目スケジュールについて ○協議事項 小俣総合支所旧産業建設課スペースの利用について ○その他 地域審議会の諮問事項について
20. 10. 14	第 31 回総合支所連絡会議 ○報告事項 公共的団体についての調査結果について 合併協議調整項目の現況調査結果について ○協議事項 地域審議会に係る諮問事項について ○その他 機構改革について
20. 11. 20	第 32 回総合支所連絡会議 ○付議事項 放課後児童クラブ利用料の改正について ○協議事項 市民への公用車の貸出しについて ○その他 合併調整項目のうちの未調整項目の一覧の報告について

21. 1. 21	<p>第 33 回総合支所連絡会議</p> <p>○協議事項 合併調整室の廃室に伴う業務の見直しについて 総合支所の体制について 慣行の取扱いについて</p> <p>○その他 地域審議会からの答申、意見事項への回答について</p>
21. 2. 23	<p>第 34 回総合支所連絡会議</p> <p>○付議事項 ごみ収集、処理業務について</p>

2 地域審議会

市町村の合併の特例に関する法律及びこれに基づく合併前の旧 4 市町村の協議に基づき設置した地域審議会の第 2 期各地域審議会公募委員の募集及び選考を行うとともに、正副会長会議を次のとおり開催した。

開催日	議 事
20. 5. 1	<p>各地域審議会公募委員募集受付開始 (5 月 30 日締め切り)</p> <p>・募集人員 各地域審議会とも 5 名以内</p>
20. 6. 17	<p>地域審議会公募委員面談選考</p> <p>・応募者 伊勢地区 3 名 全員委嘱決定</p>
20. 11. 26	<p>第 1 回地域審議会正副会長会議</p> <p>○協議事項 地域審議会への諮問について 合併調整項目の調整結果の報告 市長との意見交換</p>

戸 籍 住 民 課

○ 届出係

1 住民関係

(1) 住民基本台帳世帯数及び人口

区 分		平成 21 年 3 月末
世 帯 数		52,234 世帯
人 口	男	63,458 人
	女	70,086 人
	計	133,544 人

(注) 伊勢市総数

(2) 住民異動状況

区 分		件 数
届 出	転 入	3,423 件
	転 出	3,794
	転 居	4,145
	世 帯 変 更	2,658
	そ の 他	41
職 権	出 生	1,023
	死 亡	1,271
	職 権 消 除	2
	修 正	4,182
計		20,539

(注) 伊勢市総数

2 戸籍関係

(1) 戸籍及び本籍人口 (平成 21 年 3 月 31 日現在)

戸 籍 数	62,582 戸籍
本 籍 人 口	155,782 人

(注) 伊勢市総数

(2) 届出事件の状況

事件の種類	届出	他市町村からの送付	計
出生	805 件	406 件	1,211 件
婚姻	571	978	1,549
離婚	225	156	381
死亡・失踪	1,097	298	1,395
養子縁組	76	49	125
養子離縁	25	17	42
国籍の得喪・留保	19	15	34
本籍表示の変更	276	294	570
上記以外で氏・名の変更が生じるもの	319	168	487
上記以外で身分に変更が生じるもの	18	13	31
訂正・追完	146	6	152
不受理申出	50	19	69
その他	0	2	2
計	3,627	2,421	6,048

(3) 戸籍事務処理状況

区分	件数
新戸籍編製	956 件
戸籍全部消除	931
通知違反	9
その他	21
計	1,917

(4) 人口動態調査票作成状況

区分	男	女	不詳	計
出生	569 件	555 件	0 件	1,124 件
死亡	657	635	1	1,293
死産	10	3	8	21
婚姻				683
離婚				271
計				3,392

(注) 人口動態調査令(昭和21年勅令第447号)に基づき、保健所へ提出
伊勢市総数

(5) 相続税法による死亡通知件数 1,293件

(注) 相続税法(昭和25年法律第73号)第58条に基づき、税務署へ通知
伊勢市総数

(6) 死産届出受理状況

男	女	不詳	計
10件	3件	8件	21件

(注) 伊勢市総数

(7) 埋葬・火葬許可状況

区分	大人	小人	胎児	計
埋葬	0件	0件	2件	2件
火葬	960	2	15	977
計	960	2	17	979

(8) 民刑事事項等処理状況

区分	件数
犯罪関係通知	329件
民事関係通知	28
身元事項照会	2,659
計	3,016

(注) 伊勢市総数

3 支所関係

(1) 戸籍関係手数料調定事務等

各支所との連絡調整のほか、支所で取り扱う戸籍関係手数料の調定を行った。

区分	神社支所	大湊支所	浜郷支所	宮本支所	豊浜支所
戸籍手数料	(1,254件) 696,100円	(530件) 281,350円	(979件) 529,250円	(432件) 225,600円	(957件) 517,550円
住民基本台帳 関係手数料	(1,828) 365,600	(902) 180,400	(2,133) 426,600	(862) 172,400	(1,301) 260,200
印鑑証明手数料	(1,615) 323,000	(1,017) 203,400	(2,232) 446,400	(898) 179,600	(1,637) 327,400
諸証明手数料	(24) 4,800	(23) 4,600	(18) 3,600	(20) 4,000	(18) 3,600

外国人登録関係 証 明	(0) 0	(2) 400	(8) 1,600	(0) 0	(0) 0
計	(4,721) 1,389,500	(2,474) 670,150	(5,370) 1,407,450	(2,212) 581,600	(3,913) 1,108,750

区 分	北浜支所	城田支所	四郷支所	沼木支所	計
戸籍手数料	(1,249件) 692,450円	(953件) 525,750円	(905件) 497,850円	(304件) 165,100円	(7,563件) 4,131,000円
住民基本台帳 関係手数料	(1,801) 360,200	(1,504) 300,800	(1,123) 224,600	(523) 104,600	(11,977) 2,395,400
印鑑証明手数料	(1,844) 368,800	(1,601) 320,200	(1,157) 231,400	(600) 120,000	(12,601) 2,520,200
諸証明手数料	(38) 7,600	(29) 5,800	(20) 4,000	(19) 3,800	(209) 41,800
外国人登録関係 証 明	(1) 200	(3) 600	(1) 200	(0) 0	(15) 3,000
計	(4,933) 1,429,250	(4,090) 1,153,150	(3,206) 958,050	(1,446) 393,500	(32,365) 9,091,400

4 住居表示事務

住居番号の申請を受け、実地調査を行うなどして住居番号を付定し、それぞれの申請者へ通知した。

年 度	住 居	事 務 所	事業所等	合 計
20	76 件	1 件	19 件	96 件

5 四郷支所解体事務

旧四郷支所について、県道鳥羽松阪線道路改良工事に伴い平成20年7月7日に三重県と物件移転補償及び残地補償契約を交わし、残地補償金3,212,595円、物件移転補償金14,259,000円、道路用地売払金5,182,000円の収入があった。

○ 証明係

1 住民関係

(1) 住民票の写し交付等の状況

区 分	有 料	無 料	計	収 入 金 額
住民票の写し	43,753件 (3,748)	4,228件	47,981件 (3,748)	8,750,600円
広域交付住民票の写し	55	0	55	11,000
戸籍の附票の写し	2,337	2,709	5,046	467,400

住民票記載事項証明	1,368	346	1,714	273,600	
住民基本台帳カード	2,157	90	2,247	1,078,500	
住民基本台帳閲覧ほか	259	21	280	51,800	
印鑑登録証明	38,881 (8,143)	459	39,340 (8,143)	7,776,200	
諸証明	身分証明	1,019	0	1,019	203,800
	その他	120	10	130	24,000
外国人登録関係証明	655 (45)	258	913 (45)	131,000	
計	90,604 (11,936)	8,121	98,725 (11,936)	18,767,900	

(注1) () は自動交付機による内数。 (注2) 9支所含む。

(2) 印鑑登録数 (平成 21 年 3 月 31 日現在)

88,376 件

(注) 伊勢市総数

(3) 印鑑登録事務処理状況

区 分		件 数
増	登 録	5,021 件
	そ の 他	27
	計	5,048
減	廃 止	564
	亡 失	1,546
	死 亡	1,142
	転 出	1,500
	そ の 他	292
	計	5,044

(注) 伊勢市総数

(4) 住居表示関係証明件数 54 件

(5) 電子証明書の状況

有 料	無 料	計	金 額
1,232 件	5 件	1,237 件	616,000 円

2 戸籍関係

(1) 戸籍謄抄本交付等の状況

区 分		件 数			収 入 金 額
		有 料	無 料	計	
全部事項 証 明 (謄 本)	戸 籍	15,199 件	2,504 件	17,703 件	6,839,550 円
	除 籍	11,634	2,713	14,347	8,725,500
	計	26,833	5,217	32,050	15,565,050
個人事項 証 明 (抄 本)	戸 籍	5,884	258	6,142	2,647,800
	除 籍	121	55	176	90,750
	計	6,005	313	6,318	2,738,550
一部事項 証 明	戸 籍	5	120	125	2,250
	除 籍	0	0	0	0
	計	5	120	125	2,250
記載事項 証 明	戸 籍	0	0	0	0
	除 籍	0	0	0	0
	計	0	0	0	0
受 理 証 明 等		(8) 181	0	(8) 181	(11,200) 71,750
届書記載事項 証 明		284	14	298	99,400
閱 覧		0	0	0	0
計		(8) 33,308	5,664	(8) 38,972	(11,200) 18,477,000

(注1) () は、上質紙使用の内数。

(注2) 9支所含む。

3 外国人登録関係

(1) 外国人登録事務状況

(平成20年1月1日～平成20年12月31日)

種 別		件 数	種 別		件 数
新 登 録	入 国	328 件	閉 鎖	出 国	208 件
	出 生	6		死 亡	2
	日本国籍離脱	0		国 籍 取 得	2
	そ の 他	0		そ の 他	10
引 交 付	法 第 6 条	4	無 効	全 部 無 効	0
	法 第 6 条 の 2	18		一 部 無 効	1
再 交 付		19	署 名	新 規 登 録 (入 国)	237
確 認 (切 替 え)	法 第 11 条 第 1 項	159		引 替 交 付	21
	法 第 11 条 第 2 項	5		再 交 付	19

交付予定期間指定	519		変更登録	79	
交付予定期間変更指定	174		確認	法第11条第1項	159
居住地変更登録	変更登録申請	374		法第11条第2項	5
居住地変更登録	原票送付申請	229	家族事項登録		67
	原票送付	346	法違反	告	発
職権変更登録	0			通	知
居住地以外の変更登録	法第9条第1項	1,053	地方入管局への通報		0
	法第9条第2項	224	原票関係	原票の書換	
登録の訂正	市限りの訂正	15		原票の開示(照会回答)	
		照会による訂正	0	計	

(注) 法とは、外国人登録法をいう。

伊勢市総数。ただし、原票の開示のみ旧伊勢市分

(2) 外国人登録者国籍別在籍人員 (平成21年3月31日現在)

国籍別	人員	在籍人員
中国		502人
ブラジル		350
韓国・朝鮮		208
フィリピン		93
タイ		30
ネパール		28
米国		26
ペルー		15
インドネシア		13
インド		4
その他		57
計		1,326

(注) 伊勢市総数

(3) 郵送請求(戸籍・住民・外国人登録)処理件数 27,608件

4 自衛官募集事務

自衛隊三重地方連絡部伊勢募集事務所長から依頼を受け、懸垂幕や広報いせを通じ、新規隊員の募集などの事務補助を行った。

なお、市内から8人の入隊者があった。

戸籍住民課

人 権 政 策 課

○ 人権施策推進事業

1 伊勢市人権施策推進協議会

人権尊重の理念に関する市民相互の理解を深めるための総合的かつ計画的な施策の推進を図ることを目的に平成14年7月11日に設立した、関係官庁や市民団体等の代表34名で構成する「伊勢市人権施策推進協議会」により、官民一体となって同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決に向けた取組みを実施している。

開催日	事業名	事業内容	備考
20. 6. 23	総会	平成19年度事業報告、決算報告の承認 平成20年度事業計画（案）、予算（案）の承認 場所 市役所本庁舎4階会議室	
7. 11	第1回幹事会	第1回理事会への提出案件協議 場所 市役所東庁舎2-2会議室	
7. 24	第1回理事会	人権尊重啓発ポスター募集事業、人権セミナー、 人権講演会について 場所 市役所東庁舎4-2会議室	
8. 1 ～12. 19	人権尊重啓発ポ スター募集事業	市内小中学校児童生徒から529点の応募 秀作9点、入選100点 12. 7 生涯学習センターいせトピアにおいて 表彰、展示 12. 10～19まで市立伊勢図書館において展示	広報いせ8.1号 にて公募
9. 18	第1回 人権セミナー	「当たり前のことを当たり前 ～人権教育の意味を考える～」 講師 解放社会学研究所長 江嶋修作 場所 ハートプラザみその	参加者48名
10. 8	第2回幹事会	第2回理事会への提出案件協議 場所 市役所東庁舎3-1会議室	
10. 24	第2回理事会	人権セミナー、街頭啓発の取組みについて 場所 市役所東庁舎4-2会議室	

11. 6	第2回 人権セミナー	「性同一性障害から見えてくるもの」 講師 F T M日本主宰・作家 虎井まさ衛 場所 生涯学習センターいせトピア	参加者40名
11.27 ~12.17	人権パネル展	市役所1階ロビーにて人権パネル展を開催 生涯学習センターいせトピア及び市役所において懸垂幕を掲出	
12. 5	街頭啓発	12.4~10の人権週間に合わせ、市民の人権尊重の意識高揚を目的に、市内ショッピングセンター等にて協議会委員による啓発物品配布等の啓発活動を実施	参加者31名 配布数1200個
12. 7	人権講演会	「笑いと言げが人の輪を広げる」 講師 落語家 林家染二 場所 生涯学習センターいせトピア	参加者250名
21. 1.30	第3回 人権セミナー	「若者自立支援の現状」 講師 いせ若者就業サポートステーション 統括責任者 浦田宗昭 場所 生涯学習センターいせトピア	参加者31名
2. 6	視察研修	リバティおおさか大阪人権博物館見学 場所 大阪市浪速区	参加者22名
2.13	第3回幹事会	第3回理事会への提出案件協議 場所 市役所東庁舎3-1会議室	
2.23	第3回理事会	平成20年度事業報告及び決算見込 平成21年度事業計画（案）及び予算（案） 場所 市役所東庁舎4-2会議室	
2.26	第4回 人権セミナー	「インターネットによる人権侵害について」 講師 財団法人反差別・人権研究所みえ 松村元樹 場所 ハートプラザみその	参加者35名
随時	人権啓発冊子等 発行	人権ハンドブックN0.8（ほじょ犬ってなあに？） 人権ハンドブックN0.9（多文化共生入門）	各1,000部作成

○ 人権啓発推進事業

市民一人ひとりが自らの人権意識を高め、すべての人々の人権が守られる心豊かな明るく住みよい地域社会を築いていくことを目的に、次のとおり啓発活動を推進した。

1 各種広報、啓発事業

広 報 啓 発 事 業	内 容	備 考
広報いせ人権シリーズ掲載	人権尊重の理念の普及とその理解を深めてもらうことを目的に、同和問題をはじめ様々な人権問題をテーマに取り上げ、市民の方々に人権について考えていただく機会とした。	毎号掲載
地域人権啓発紙の編集	市民館、教育集会所が中心となって作成する地域人権啓発紙への記事提供及び編集。広報いせ人権シリーズ同様、様々な人権問題をテーマに取り上げ、地域の方々に人権について考えていただく機会とした。	地域人権啓発紙 3紙 毎月発行
人権週間啓発チラシ等の作成	人権週間をPRし、人権の大切さを広く市民に訴えるため、啓発チラシを作成し、人権尊重宣言都市啓発用シャープペンシルと合わせて、街頭啓発、関係機関窓口等で配布した。	チラシA5変形版 3,500枚 人権尊重宣言都市 周知用シャープペン シル 3,500本
人権啓発パンフレット等の作成	市民の人権意識の高揚と人権を侵害する落書き行為などの予防、啓発のためパンフレットを作成した。	パンフレットA5 変形版 1,500部

2 人権相談

市民を対象とした、様々な人権問題についての相談を随時受け付け、相談者自らが主体的に解決できるよう情報の提供や助言を行っている。平成20年度については、4件の事例について相談・対応にあたった。（差別落書き2件、公正採用1件、地域での問題1件）

○ 隣保館運営事業

周辺地域を含めた地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談や教養文化活動等の諸事業を実施するとともに、これらの活動を通じ日常生活に根ざした啓発活動を行い、住民の交流促進と福祉の向上に努めた。

1 事業費

	総事業費	補助基準額	財源内訳	
			県補助金	市費
隣保館 運営事業費	37,270,681	34,368,505円	25,776,000円	11,494,681円

(注) 正規職員 1人 給与等 8,339,132円を含む。

2 事業内容

事業区分		朝熊市民館		大久保市民館		黒瀬市民館		計	
		件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
相 談 事 業	人権相談	1	1	0	0	0	0	1	1
	職業相談	10	11	65	65	6	9	81	85
	教育相談	6	12	0	0	0	0	6	12
	福祉相談	14	23	2	2	3	3	19	28
	生活相談	4	5	8	8	15	16	27	29
	健康相談	3	3	0	0	0	0	3	3
	その他相談	81	103	19	20	1	1	101	124
各 種 講 座	パッチワーク	—	—	—	—	25	165	25	165
	習字講座	—	—	36	506	48	238	84	744
	英語講座	—	—	42	493	—	—	42	493
	民謡講座	—	—	—	—	26	165	26	165
	手芸講座	18	157	—	—	26	73	44	230

3 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
朝熊町内	(注) 朝熊市民館耐震診断業務委託	鉄筋コンクリート造 2階建 延床面積 290.00㎡	円 1,378,650	20. 7. 25	20. 11. 28

(注) 建築住宅課施行

○ 非核・平和推進関係

1 非核・平和第30回空襲展の開催

市民の空襲の記録を収集し、展示することによって、核兵器の廃絶及び軍備縮小並びに平和を広く訴えるため、平成20年8月16日・17日に、ハートプラザみそのにおいて、非核・平和第30回空襲展実行委員会と共催し、伊勢市空襲を記録する会の協力を得て空襲展を開催した。

当課の企画として、伊勢市にも戦争の惨禍があったことを再認識する企画として「いせ市の戦跡めぐり」を実施した。

主な催し物・・・講演会、映画・ビデオ視聴コーナー、すいとん汁試食コーナーなど

主な展示物・・・伊勢空襲の記録・写真、焼夷弾、軍用品、戦時中の生活用品など

2 原爆被災写真展

非核・平和第30回空襲展を前に、原爆被爆の実相を伝え、戦争や核兵器のない未来をつくることをめざして、広く市民に平和の尊さを訴えるパネル展を8月5日から8月14日まで、市役所1階ロビーにて開催した。

3 非核平和都市宣言周知ミニパンフの配布

市民に宣言の周知と、平和の尊さを共有していく意義を感じてもらうため、ミニパンフを配布、また、ポスターを掲示した。

パンフ作成枚数 : 3,000部 空襲展等で配布

4 非核平和都市宣言折り鶴

学校教育課を通じて市内各中学校の生徒代表による広島平和祈念式典への参加にあたって、各校生徒が平和への祈りを込めて作る千羽鶴用に、伊勢市非核平和都市宣言文を印刷した折り紙用紙を提供した。(12校×1,000枚)

また、市役所ロビーにおける原爆被災写真展、第30回非核・平和空襲展の折り鶴コーナーでも利用した。

5 日本非核宣言自治体協議会

市町村合併に伴い脱会扱いとなっていた日本非核平和宣言自治体協議会に、平成18年、新市としての非核平和都市宣言採択に伴い再加盟した。非人道的核兵器の使用は人類と地球の破滅につながる恐れがあり、住民の生命と生活を守ることは自治体の責務であるとの考えから、本会の非核平和都市を宣言した全国の自治体間の協力体制確立と、全国・全世界に核兵器廃絶、恒久平和を呼びかけ、平和の尊さを訴えるという趣旨に賛同して加盟したもので、協議会は核実験を行う諸国への抗議行動や地雷廃絶キャンペーンを行うなど、幅広い活動を展開している。

(非核宣言自治体数 1,496自治体 うち協議会会員自治体数 244自治体：平成21年4月現在)

定 額 給 付 金 対 策 室

○ 定額給付金給付事業

景気後退下での住民の不安に対処するため、住民の生活支援を行うとともに、住民に広く給付することにより、地域の経済対策に資するため、定額給付金の給付及びその関連事務を平成21年2月1日より定額給付金対策準備室として職員3名で業務を開始した。のち、国での関連法案の成立を受け、平成21年3月4日に定額給付金対策室と名称を改めて実施した。

1 事業費

	総 事 業 費	財 源 内 訳	
		国庫支出金	市 費
定 額 給 付 金 事 業 費	2,077,240,000 円	2,077,240,000 円	0 円
定 額 給 付 金 給 付 事 務 費	85,155,000 円	69,945,000 円	15,210,000 円

○給付対象者

基準日（平成21年2月1日）において、次のいずれかの要件に該当する者。

- ・市の住民基本台帳に記録されている者
- ・外国人登録原票に登録されている者のうち、「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める特別永住者及び「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格を有して在留する者で、かつ給付決定時においても当該要件を満たしている者。

○ 給付申請・受給者

- ・住民基本台帳に登録されている者の世帯主
- ・外国人登録原票に登録されており、給付要件に該当する者

○ 給付額

1人につき1万2千円、ただし、65歳以上の者及び18歳以下の者は2万円。

65歳以上の者……昭和19年2月2日以前に出生した者

18歳以下の者……平成2年2月2日以降に出生した者

○ 給付申請受付開始日及び終了日

- ・開始日：平成21年4月20日（月）
- ・終了日：平成21年10月20日（火）

2 事業内容

開催日	事業内容	備考
21. 2. 4	定額給付金事務に関する意見交換会出席 場所 津市JA三重ビル 10:00～12:00 ・定額給付金事務に関する留意点等 ・振り込め詐欺等対策の推進 ・県内市町の取組状況に関する意見交換	主催：三重県
21. 3. 3	定額給付金担当者4市打ち合わせ 場所 本庁4-4会議室 10:00～12:00 出席者 伊勢市、松阪市、鳥羽市、志摩市、松阪電子計算センター 各担当者 ・給付申請受付開始日及び終了日の調整 ・申請書発送日時調整 ・電算システムについての質問・要望	

環 境 課

○ 環境全般

1 伊勢市環境審議会

伊勢市環境基本条例第 11 条の規定に基づき伊勢市環境審議会を設置し、環境基本計画の進捗状況等について審議した。今年度は、市町村合併後の新市環境基本計画の策定にあたり、当審議会に諮問している。

伊勢市環境審議会委員 会長：朴恵淑（三重大学学長補佐）、副会長：深草正博（皇學館大学教授）、その他委員：公共的団体等に所属する者でその団体の推薦を得た者 9 人、学識経験を有する者 1 人、その他市長が必要と認める者 2 人。

2 環境管理システムの推進

平成 20 年度から I S O 14001 の規格によらない環境管理システムの運用を開始した。全庁的に取り組む施策と本庁、各総合支所にて取り組む事務活動に大別し、事務活動については、事務用紙使用量、可燃ごみ排出量、電力使用量、公用車燃料使用量の削減に取り組み、毎月、グループウェア掲示板において取り組み実績、取り組みのアイデアを紹介し、結果全ての項目において年度当初の目標を達成した。

一方、全庁的に取り組むものに関しては年度締めで報告書「えこのおと 伊勢市環境報告書（平成 19 年度）」を作成し、庁内外に周知することで幅広く伊勢市の環境に関心を持ってもらうよう取り図った。

また、この報告書を題材に皇學館大学との包括連携によるスターティングプロジェクトに位置付けられた「環境ミーティング～大学生と語る伊勢の環境～」を開催し、市内外出身の学生から様々な意見が出された。

津市との都市間連携により、互いの市で運用される環境管理システムを中心に意見交換を行ったが、特に当市で作成した報告書について理解を示された。

3 環境啓発・環境教育の推進

（1）環境リサイクルフェア開催事業

ごみ減量化対策等を市民に周知し、またいろいろな体験を通して市民の環境意識の向上や市の環境施策への理解と協力を得るため、平成 20 年 11 月 2 日（日）10 時～15 時に、朝熊町県営サンアリーナ（メインアリーナ及び屋外広場）において、伊勢市ごみ問題市民会議、伊勢市河川海域環境美化推進協議会と市（環境課、資源循環課）の協働で環境リサイクルフェアを開催した。

なお、伊勢志摩労働者福祉協議会主催の「2008 福祉フェスティバル 勤労者ゆとり T・I・M・E y o u ・ ゆ う ・ 遊 i n g 」 と 同 時 開 催。

出展内容は、修道小学校合唱、リサイクルポスター入選者表彰式、体験コーナー（アクリルタワシ作り、牛乳パックでオリジナルハガキづくり、おもちゃの病院など）、展示（下水道コーナー、リサイクルポスターの展示、水質調査のパネル展示、小中学生の環境に関する取組作品展示、宮川流域ルネッサンス協議会による輪投げ・宮川の水の試飲・募金活動など）、三角コーナー販売、フリーマーケット、屋外広場で業者等による出展（太陽光パネル展示、廃食油BDFを使ったパッカー車の実演、バイオマス発電装置展示）。

(2) こどもエコクラブ

平成7年から環境省により実施されているこどもエコクラブの運営支援を行った。

平成20年度の登録団体数：3 会員数：74人 サポーター数：5人

○ 地球温暖化防止対策の推進

1 地球温暖化防止実行計画の策定

地球温暖化を防止するための市の取り組みを示すものとして、地球温暖化防止実行計画を策定した。

これは、市の全事業活動に伴い排出される温室効果ガスを削減する計画であるが、具体的な取り組みとしては、特に新エネルギーの利用と省エネルギーの実践を挙げた。

新エネルギーの利用としては、公共施設への太陽光発電、太陽熱の利用、公用車へのBDF利用、クリーンエネルギー自動車の導入を例に削減効果を検討した。

省エネルギーについては、特に排出量が多い13施設に対し、財団法人 省エネルギーセンターによる省エネルギー診断を実施し、設備の設定など運転管理上可能な削減、5年以内での回収が可能な機器への設備投資による削減などが提案され、各施設管理者による提案内容の実施が望まれるところである。

2 伊勢市地域新エネルギービジョンの推進

(1) 家庭用新エネルギーシステム普及推進事業

家庭でも比較的取り組みやすい新エネルギーの導入を促進し、地球温暖化防止対策を推進するために、家庭用新エネルギーシステム設備設置者に対し補助を行った。

区分	補助金額	件数	支出額
太陽光発電設備	円 120,000	件 13	円 1,560,000
太陽光発電設備+Co2冷媒ヒートポンプ給湯器	160,000	22	3,520,000
太陽光発電設備+家庭用ガスエンジン給湯器	220,000	1	220,000
小型風力発電設備	120,000	0	0
計	—	36	5,300,000

(2) 新・省エネルギー研究会

平成19年度策定した「伊勢市地域新エネルギービジョン」により重点事業とされた「新・省エネルギー懇話会（仮称）事業」の取り組みとして伊勢商工会議所環境委員会と環境課により新・省エネルギー研究会を設置し、伊勢市における新エネルギーの普及、省エネルギーの実践拡大を目指し、実現するための手段を検討した。

新エネルギーについては特に太陽光発電システムの利用が期待され、先進地の取り組み事例をもとに当地域における市民ファンド等の実現可能性を検討した。

省エネルギーについては、まず現在のエネルギー利用実態を調べ、無駄を省くことが必要であるため、三重県による省エネルギー診断の受診を推し進めた。

一年間の研究会の成果として、「伊勢商工会議所 環境行動計画」が策定され、当市に対しても低炭素社会の実現に向けた要望が出された。

(3) 新エネルギー（バイオマス）詳細調査

平成19年度策定した「伊勢市地域新エネルギービジョン」により重点事業とされた「バイオマス（生ごみ）活用事業」、「廃食油バイオディーゼル燃料化事業を核とした地域循環システム」の検討を独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構の補助を受け実施した。

「バイオマス（生ごみ）活用事業」は、現在焼却処分をしている生ごみをメタン発酵させ、得られたメタンガスを発電などの燃料として利用する事業であるが、この度の調査では環境面での効果は大きいものの、経費面ではメリットが見出せなかった。これは、生ごみ以外の可燃ごみ処理に掛かる経費の削減が難しいためだが、この可燃ごみ量をさらに縮小させることにより、経費面での効果も期待されることから、平成21年度に再度調査を実施することとなった。

「廃食油バイオディーゼル燃料化事業を核とした地域循環システム」は、市内の遊休農地を利用して菜の花など食用油を採取できる植物を栽培し、得られた食用油を学校給食などで利用後、廃食油をBDFとして燃料利用するという方策である。

廃食油の利用は、二見町での取り組みを拡大するかたちで平成21年度から全市での運用を開始するが、遊休農地の利用については、その担い手の確保など補助制度に頼らない自立的、継続的な取り組みの実現が今後の課題である。

(4) 風力発電設備保守点検業務委託

市役所本館屋上、市立倉田山中学校、伊勢生涯学習センター いせトピア、御菌町に設置した小型風力発電の保守点検を実施した。点検の結果、大きな異常は認められなかったが、経年劣化によりバッテリーの性能が落ちており、交換など対応が必要となっている。

○ 生活排水対策の推進

1 伊勢市生活排水対策推進計画の策定

旧4市町村の生活排水対策を尊重しつつ、近年の社会状況の変化を踏まえ、新市における将来の生活排水処理のあり方をハード、ソフトの両面から明確にするため、「伊勢市生活排水対策推進計画」を策定した。

《策定経過》

- ・下水道審議会

計画の一部である下水道の整備計画について、平成20年9月18日に諮問し、11月7日に答申を得た。

- ・パブリックコメント実施期間 平成20年12月16日～平成21年1月15日

- ・パブリックコメント意見提出結果 6通、10件

- ・策定業務委託先 (株)若鈴 3,990,000円(平成19年度繰越明許)

2 合併処理浄化槽設置の促進

(1) 浄化槽設置件数の把握

適切な生活排水処理により生活環境の保全を守るため、浄化槽の建築確認に伴う調書及び設置届書、また廃止届により浄化槽設置基数を把握した。なお、平成20年度の届け出件数は、次のとおりであった。

人槽別 受付別	5～10 人槽	11～50 人槽	51～100 人槽	101～500 人槽	501人槽 以上	計
建築確認、設置届受付件数	466件	34件	6件	6件	0件	512件
廃止届受付件数	776	23	3	2	0	804

(2) 小型合併処理浄化槽設置整備事業補助金

区分		下水道認可区域外			下水道認可区域内			計	
種類	人槽	補助 基準額	補助 基数	補助 金額	補助 基準額	補助 基数	補助 金額	補助 基数	補助 金額
一般	5	千円 332	基 181	千円 60,092	千円 110	基 34	千円 3,740	基 215	千円 63,832
	7	414	166	68,724	138	15	2,070	181	70,794
	10	548	20	10,960	182	2	364	22	11,324
高度	5	444	2	888	—	—	—	2	888
	7	486	7	3,402	—	—	—	7	3,402
計		—	376	144,066	—	51	6,174	427	150,240

生活排水対策の推進を図るため、合併処理浄化槽設置者に対し補助を行った。公共下水道事業認可区域については、平成13年度より市単独補助を行っている。

3 生活排水対策用品配布事業

家庭でできる生活排水対策推進のため、持続効果の高い1mm目三角コーナーを一部有償（300円）で希望者に配布し、公共用水域の汚濁負荷量の軽減と生活排水の意識啓発を行った（配布個数103個）。

4 伊勢河川海域環境美化推進協議会

これまでの伊勢市生活排水対策活動推進協議会を発展的解消し、市民の生活排水対策における意識の高揚を図り、市全域を対象とする一貫した取組を実践するため、新たに伊勢河川海域環境美化推進協議会を結成した。初年度は、この会を通して生活排水対策における啓発事業を下記のとおり実施した。

6月3日 環境学習会開催

7月6日 勢田川の浄化を図るため、“～勢田川を天の川に～”をキャッチフレーズに「勢田川七夕大そうじ」を実施した。

ア. 実施区域	勢田川沿岸（千寿台団地～一色町）	約 7 km
	朝川沿岸（旭町～勢田川合流点）	約 2 km
	朝川支川（角前胃腸科医院西側～伊勢自動車道）	約 1.3 km
	椀尻川沿岸（準用河川椀尻川～勢田川合流点）	約 2 km
	合計	約 12.3km

イ. 参加者 約 2,900 人

ウ. 拾集物 空き缶 1,263 個、空きビン 590 個等

11月2日 環境リサイクルフェア主催…アクリルたわし作成、環境クイズ、三角コーナー販売、不燃物入れ一斗缶配布

11月8日 明倫小学校文化祭出展…アクリルたわし作成、不燃物入れ一斗缶配布、作品展、EMコーナー、クイズ等

1月29日、2月27日 エコクッキング開催

伊勢河川海域環境美化推進協議会委員 会長：森本幸生（伊勢市総連合自治会）、副会長：濱千代美智子（伊勢市婦人会連絡協議会）、その他委員：住民組織代表4人、生活排水に関する団体の代表4人、その他市長が必要と認める関係機関等の代表14人、

○ 公害対策事業

1 大気汚染調査

市内の大気汚染の実態を把握するため、県環境森林部により厚生中学校に設置（昭和63年3月から測定開始）されている大気汚染常時監視測定局で二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、オキシダント、窒素酸化物、炭化水素等の常時自動測定調査を行った。

2 水質調査

河川や海域の水質汚濁の防止を図るとともに、汚濁状態を把握するため定期測定計画を定め、河川や海域の水質及び主要事業所の排水を調査した。

(1) 20年度調査実施状況

区分	河川水質 (10河川)	事業所排水	海域	幹線排水路 水質	勢田川水質	河川界面 活性剤調査
地点	25	23	7	4	5	30
項目	16	15	6	10	16	1
回数	4	1	4	4	12	2

(2) 河川BOD経年変化

年 度	15	16	17	18	19	20	環境基準
	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	
宇治橋 (五十鈴川)	1.0	0.8	0.7	0.6	0.9	0.7	1mg/l 以下
堀割橋 (五十鈴川)	0.9	1.0	1.0	0.8	1.1	0.8	2mg/l 以下
勢田大橋 (勢田川)	▲5.5	▲7.0	3.8	▲6.7	4.1	4.1	5mg/l 以下
度会橋 (宮川)	▲1.2	0.9	▲1.1	0.7	0.6	0.6	1mg/l 以下
大野橋 (外城田川)	2.5	1.7	2.5	1.5	2.1	1.6	3mg/l 以下
豊浜橋 (外城田川)	1.7	2.3	1.9	1.6	1.5	1.6	5mg/l 以下
有滝橋 (江川)	1.4	1.0	1.4	0.9	0.9	0.8	—
大堀川橋 (大堀川)	1.8	1.7	2.9	1.5	1.5	1.6	—
野垣外橋 (汁谷川)	2.8	2.3	3.1	0.8	1.6	1.1	—

(注) ▲は、環境基準オーバーを表す。数値は年4回の平均値

ただし、勢田大橋については年12回の平均値

(3) 海域COD経年変化

年 度	15	16	17	18	19	20	環境基準
	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	
東大淀沖	0.7	1.4	0.2	0.7	1.2	1.1	2mg/l 以下
村松沖	0.7	0.8	0.5	0.8	0.8	1.2	3mg/l 以下
豊北漁港	0.7	0.8	0.7	0.9	1.0	1.1	3mg/l 以下
大湊沖	0.5	0.5	0.5	0.2	0.7	1.1	3mg/l 以下
宇治山田港	1.3	0.6	1.0	0.8	0.8	0.7	3mg/l 以下
宇治山田港沖	1.1	0.6	0.9	0.5	0.6	1.0	3mg/l 以下
笹笛川地先	—	—	—	—	0.9	1.4	3mg/l 以下

(注) 数値は年4回の平均値 (17年度は3回の平均値)

3 公害苦情等処理状況

相隣関係的な苦情が多く、20年度の苦情処理結果は、大気汚染6件、水質汚濁19件、騒音40件、悪臭71件、振動0件、その他20件、合計105件であった。

4 公害関係法令に基づく各種届出受理業務

生活環境を保全し、市民生活の健康保護のため、公害関係法令に基づき、事業活動を行う工業及び事業場に対する各種届出受理業務を行った。

なお、特定施設に関する設置等の届出については、以下のとおりである。

区 分		設置届出数	廃止届出数
大気汚染防止法	ばい煙	件 2	件 4
	粉じん	1	3
水質汚濁防止法		6	5
騒音規制法		2	0
振動規制法		2	0
三重県生活環境の保全に関する条例関係	ばい煙	1	1
	粉じん	2	2
	騒音	7	0
	振動	4	1
	揚水設備	1	0
ダイオキシン類対策特別措置法		0	0
計		28	16

○ 衛生・美化関係

1 防疫

生活環境の保全を図るため、希望自治会に煙霧消毒機械貸出（17台保有）を行った。また、ハチ防護服貸出（72件）を行った。

種 別	区 分	対 象	件数	薬剂量	備考
煙霧消毒 (油剤)	機械貸出	自治会	件 73	1 1,668	
		その他	0	0	
	市職員実施	公共施設等	21	110	
		私立保育園	0	0	
		災害復旧他	0	0	

2 不法投棄防止対策事業

(1) パトロール及び不法投棄監視カメラによる防止対策

不法投棄多発地点を定期的にパトロールするとともに、市内4箇所を設置した監視カメラ（移動式）で、不法投棄の未然防止に努めた。

(2) 不法投棄の通報への対応

市民の通報を受け、現場で投棄物の調査を行い、投棄者を特定できれば警察と連携して撤去を要請し、再発を防止した。投棄者が不明の場合は看板で啓発し、一定期間を経て、更なる不法投棄を招かないように投棄物を回収した。なお、投棄場所が私有地の場合は、所有者に連絡して対応を求めた。

不法投棄物：テレビ 104 台、冷蔵庫 19 台、洗濯機 20 台、エアコン 5 台、タイヤ 213 本 他

(3) 伊勢地域不法投棄防止対策連絡会への参加

家電リサイクル法の施行等に伴い増加が危惧される不法投棄について、6 市町で構成する伊勢地域不法投棄防止対策連絡会に参加し、研修会の開催等、不法投棄防止対策について広域的に取り組んだ。

伊勢地域不法投棄防止対策連絡会会員

区 分	構 成 市 町 村
会 長	伊勢市
副会長	明和町
会 員	玉城町、大紀町、南伊勢町、度会町

3 伊勢公衆浴場組合に対する支援

市民の公衆衛生の確保を図るため、公衆浴場組合補助金に替わる支援策として、母の日、父の日、敬老の日における集客用の物品提供を行った。(平成 20 年度公衆浴場数 10 件)

	物 品	購 入 額
母の日 (5 月 11 日)	ボックスティッシュ 1,200 個	円 88,200
父の日 (6 月 15 日)	T 字剃刀 1,000 本 浴用タオル (白) 400 枚	76,750
敬老の日 (9 月 15 日)	石鹸 500 個 浴用タオル (白) 344 枚	70,000
計	—	234,950

4 放置自動車対策事業

放置自動車の発生を防止して、地域の美観を保持し良好な都市機能を維持するため、伊勢市放置自動車の発生防止及び適正処理に関する条例を制定し(平成 17 年 11 月 1 日制定、同日施行)、市道、公園、市営住宅等の市有地に放置された自動車に対し措置を講じた。条例の運用は公共用地管理者(各課)が行う(処分経費は環境課で予算計上)。民有地については警察等と協力して助言指導を行う。(20 年度放置自動車処分台数 2 台)。

5 高麗広地区飲料水浄化施設等設置補助事業

高麗広地区においては上水道施設がないことから、良質で安全な飲料水の確保のために、自家用井戸や浄水施設等を設置した当該地区住民に対し補助を行った。(20 年度補助金交付件数 2 件)。

○ 墓地関係

1 市営墓地

市が管理する大世古墓地及び大湊墓地について、管理及び清掃業務委託を行い、墓地環境の整備を図った。

墓 地 名 等	委 託 先	委 託 料
大世古墓地管理	大世古3丁目 北村日出子	円 156,000
大世古墓地清掃	社団法人 伊勢市シルバー人材センター	1,149,750
大湊墓地管理及び清掃	大湊町寿会老人クラブ	420,000
計	—	1,725,750

2 共同墓地整備費補助金

共同墓地の環境改善を図るため、自治会等が行った墓地整備事業に対し費用の一部を補助した。

墓 地 名	事 業 費	補 助 金	摘 要
	円	円	
浦口墓地	4,722,900	3,000,000	参道階段の手摺設置及び階段改修工事
二見町松下墓地	149,688	99,000	井戸水ポンプの屋根設置
新高向墓地	232,500	155,000	墓地排水補修
	244,110	162,000	墓地通路の排水補修
北明野墓地	2,100,000	1,400,000	墓地会堂の屋根の改修
二見町西区	445,995	297,000	線香着火BOX設置、焼香場の塗装、しきみ入れ箱設置
高向墓地	106,000	70,000	水栓柱の増設
宮後墓地	1,021,230	680,000	案内板設置、桶・杓・掃除用具置場の新設、通路凹凸部・未舗装部の舗装
二見町三津墓地	310,000	206,000	ごみ箱設置
神菌町共有墓地	157,000	104,000	給水栓嵩上げ・手洗い場新設・排水工事
湯田墓地	166,950	111,000	看板設置
川端町墓地	59,522	39,000	簡易物置設置
二見町山田原・溝口墓地	113,085	75,000	手洗場設置
計	9,828,980	6,398,000	

○ 犬・猫関係

1 狂犬病予防事務

狂犬病予防法に基づく畜犬登録及び狂犬病予防注射について、毎年4月～6月に実施している。飼い犬管理システムによる情報管理を行い、平成21年3月31日現在の登録件数は8,848頭の登録がある。なお、平成20年度の新規登録件数は652頭、狂犬病予防注射件数6,028頭（うち獣医師等による接種頭数3,712頭）であった。

2 犬及び猫の不妊手術費等の助成

犬や猫の適正飼育を図るため、不妊手術費等の一部助成を行った。

区 分	犬 雄	犬 雌	猫 雄	猫 雌	計
補助基準額	3,000 円	4,000 円	2,500 円	3,500 円	—
補助件数	90 件	91 件	146 件	250 件	577 件
補助金額	270,000 円	364,000 円	365,000 円	875,000 円	1,874,000 円

○ ごみ関係

1 伊勢市廃棄物減量等推進審議会

伊勢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例第8条第1項の規定に基づき伊勢市廃棄物減量等推進審議会を設置し、一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の進捗状況等について審議した。平成20年度から市町村合併後の新市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画策定のため、当審議会に諮問している。

審議会委員 会長：大串兎紀夫（皇學館大学教授）、副会長：宮岡邦任（三重大学准教授）、その他委員：学識経験者1人、市民の代表1人、事業者等の代表4人、地域住民組織の代表3人、再生資源事業者の代表1人、関係行政機関の職員1人。

2 合併調整に係るごみ処理の統一化の検討

平成17年11月1日の市町村合併前から、旧市町村毎に異なっているごみの排出、回収方法について、統一に向けた素案を作成した。

3 ごみの適正処理

（1）ごみ排出量及び処理経費

ごみの減量・資源化のための分別収集を推進した結果、過去5年間のごみ排出量及び過去3年間の処理経費の推移は次のとおりであった。

①過去5年間のごみ排出量の推移

年 度	16 年度	17 年度	対前年 度増減	18 年度	対前年 度増減	19 年度	対前年 度増減	20 年度	対前年 度増減
燃えるごみ	46,513 ^t	45,155 ^t	△2.9 [%]	46,643 ^t	3.3 [%]	44,655 ^t	△4.3 [%]	44,594 ^t	△0.1 [%]
金属・その他	2,310	1,921	△16.8	1,855	△3.4	1,310	△29.4	1,335	1.9
粗大ごみ	2,512	2,159	△14.1	2,267	5.0	2,080	△8.2	1,988	△4.4
小 計	51,335	49,235	△4.1	50,765	3.1	48,045	△5.4	47,917	△0.3
資 源 物	7,666	7,855	2.5	7,821	△0.4	7,720	△1.3	6,977	△9.6

投棄場 搬入量	t 963	t 1,057	% 9.8	t 974	% △7.9	t 986	% 1.2	t 888	% △9.9
合 計	59,964	58,147	△3.0	59,560	2.4	56,751	△4.7	55,782	△1.7

(注) 対前年度増減 (%) = (当該年度 - 前年度) / 前年度 × 100

②ごみの各平均排出量

年 度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
各 年 度 末 人 口 (人)	137,240	136,924	135,944	135,507	134,870
各 年 度 末 世 帯 数 (世帯)	51,611	52,183	52,523	52,295	53,255
総 ご み 排 出 量 (t)	59,964	58,147	59,560	56,751	55,782
1 日 平 均 排 出 量 (t/日)	164.28	159.31	163.18	155.48	153.83
1 日 1 人 平 均 排 出 量 (g/人・日)	1,197.1	1,163.5	1,200.3	1,147.4	1,133.1
1 日 1 世 帯 平 均 排 出 量 (g/世帯・日)	3,183.1	3,052.8	3,106.8	2,973.2	2,869.7

③処理経費の推移

年 度	17年度	18年度	19年度
処 理 経 費	円 1,927,667,000	円 1,871,437,000	円 1,625,423,000
ごみ 1 t 当りの経費	33,152	31,421	28,641
1 人 当 り の 経 費	14,078	13,766	11,995
1 世 帯 当 り の 経 費	36,941	35,631	31,082

(注) 処理経費は、毎年度環境省より実施される一般廃棄物処理実態調査で報告したものをいい、人件費、収集運搬・最終処分等に係る処理費、車両等購入費、ごみ処理委託料、組合分担金（運営経費（うち建設改良費）、建設経費及び公債費除く。）、各種委員会経費・補助金等に係るその他の経費を加えたもの。

(2) 資源物の回収量及び売却額

市内に設置した資源ステーション・資源拠点回収ステーション等で資源物の分別収集を行い、伊勢広域環境組合等の中間処理施設を経由し、ごみの資源化を図った。また、回収量（資源化量）の推移は、次のとおりであった。

①資源びん

年 度	回収量及び売却額	無 色	茶 色	その他の色	計
18 年度	回収量(kg)	499,630	429,340	169,260	1,098,230
	売却額(円)	262,305	225,403	△144,210	343,498
19 年度	回収量(kg)	532,430	461,430	174,080	1,167,940
	売却額(円)	279,525	242,250	△111,064	410,711
20 年度	回収量(kg)	495,060	431,370	150,610	1,077,040
	売却額(円)	259,906	226,469	△100,909	385,466

(注) 売却額△表示は、委託単価(逆有償)を示す。また、回収量には、リサイクルプラザへの直接持込分も含む。

②紙類等

年度	回収量 及び 売却額	新 聞	雑誌類	段ホ-ル	紙ハ-ック		綿製品 (布類)	計
					(11)	(200ml)		
18 年度	回 収 量 (kg)	1,392,060	2,631,820	908,990	34,840	960	119,790	5,088,460
	売 却 額 (円)	4,714,870	4,931,930	2,592,350	138,840	0	0	12,377,990
19 年度	回 収 量 (kg)	1,284,100	2,378,350	885,180	31,370	450	103,260	4,682,710
	売 却 額 (円)	11,407,907	11,012,235	6,152,378	180,315	450	98,950	28,852,235
20 年度	回 収 量 (kg)	1,375,280	1,708,660	877,140	32,420	670	88,770	4,082,940
	売 却 額 (円)	14,785,438	12,053,542	7,892,931	188,183	670	85,909	35,006,673

③ペットボトル

年 度	回収量	売却額	売 却 先
18 年度	kg 336,743	円 707,160	(有) ジェイピー化工
19 年度	328,149	689,112	(有) ジェイピー化工
20 年度	335,382	8,803,777	(有) シーピーアール

④プラスチック製容器包装

年 度	回収量	委託料	委 託 先
18 年度	kg 1,084,220	円 4,830,201	三重中央開発(株)
19 年度	1,036,300	2,667,437	(有) 山川商事 J F E 環境(株)
20 年度	1,006,760	3,024,308	(有) 山川商事

⑤ガラス類

年 度	回収量	再商品化委託料	委 託 先
19 年度	kg 110,720	円 1,604,333	トーエイ (株)
20 年度	131,910	1,800,572	(株) ヤマムラ

(注) ガラス類とはガラス製の食器・化粧びん・板ガラスなど (資源びんを除く)

⑥陶磁器類

年 度	回収量	再商品化委託料	委 託 先
19 年度	kg 169,510	円 3,559,710	(株) ヤマムラ
20 年度	197,230	4,763,105	(株) ヤマムラ

⑦アルミ缶・スチール缶 (二見町・小俣町分)

年 度	地域	回収量	再商品化売却額	売 却 先
18 年度	二見町	kg 10,490	円 524,500	(株) 幸伸
	小俣町	42,815	1,104,250	(有)いせ梅田
19 年度	二見町	10,330	619,800	(株) 幸伸
	小俣町	50,965	2,015,140	(有)いせ梅田
20 年度	二見町	9,210	489,678	(株) 幸伸
	小俣町	51,373	1,486,721	(有)いせ梅田

(注) 二見町はアルミ缶のみ、小俣町はアルミ缶・スチール缶の合計

⑧資源化率の推移

年 度	18 年度	19 年度	20 年度
資源化率 (%)	18.98	19.55	18.69

(注) 資源化率 (%) = (再生資源回収団体の資源回収量 + 資源回収量) / (再生資源回収団体の資源回収量 + ごみ総排出量) × 100

※資源回収量 = (市で回収した資源物量) + (粗大ごみ処理施設で選別した鉄・アルミ回収量)

4 3Rの推進

(1) マイバッグ持参・レジ袋有料化の取り組み

地球温暖化防止と循環型社会構築を目指し、市民・事業者・行政が連携・協力して、新たに市内1事業者1店舗のスーパーマーケットと市内2事業者9店舗のドラッグストアがレジ袋の有料化を実施した。また、実施に伴い、市民への啓発を行った。

① ええやんか！マイバッグ（レジ袋有料化）検討会の開催

検討会開催回数 4回

参加者 スーパーマーケット事業者（8事業者）、ドラッグストア事業者（3事業者）、伊勢市商店街連合会、市民団体（6団体）、協力団体（3団体）

② レジ袋大幅削減・マイバッグ持参店頭キャンペーンの実施

平成20年5月1日（木） 市内スーパーマーケット1店舗

平成20年8月24日（日）、9月20日（土） 市内ドラッグストア9店舗

内容 マイバッグ持参、レジ袋有料化の呼びかけ行動

③ 「ええやんか！環境活動助成金」審査会の開催

とき 平成21年2月11日（祝）

ところ 伊勢市役所 本庁舎4階 4-5会議室

申請者 4団体・1個人

助成決定 4団体・1個人

(2) 指定袋制度運営事業

ごみの減量及び資源化を推進するため、燃えるごみの指定ごみ袋制を実施した。

① 種類 3種類（大袋 45ℓ、中袋 30ℓ、小袋 15ℓ）

高密度ポリエチレン製、半透明

② 販売方法 「伊勢市指定ごみ袋販売店」にて販売

（平成21年3月31日現在 販売店登録数 324店舗）

③ 販売価格 希望小売価格制度にて販売

市の提示する希望小売価格（大袋 83円、中袋 60円、小袋 41円：税別）

④ 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市地内	伊勢市指定ごみ袋納入業務委託	伊勢市指定ごみ袋の納入、保管、配送、受け払い、配送量報告及び数量管理報告業務	円 109,735,500 (2ヵ年契約)	20. 2. 1	22. 3. 31
計	1件	—	109,735,500	—	—

(3) ごみ減量化容器設置補助金事業

生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器を購入及び設置した者に対し補助金を交付した。

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
18年度	174件	182基	4,392,400円
19年度	171	173	4,385,300
20年度	200	215	4,901,500

(4) 資源化実験事業

ごみの減量及び資源化を図るため、特に生ごみの更なる減量・資源化を推進し、家庭から排出される生ごみの資源化への可能性を探るため、平成16年2月よりモデル地区に生ごみ処理機を貸与し、地域住民による生ごみ資源化のデータ収集（地域での生ごみ処理機共同利用状況、アンケート調査等）を行った。

①貸与自治会数 1自治会（津村団地自治会）

②貸与基数 1基

③利用状況

年 度	生ごみ投入量	取出し堆肥量 (一次処理物)	堆肥化率 (減量化率)	維持管理等 費用	削減された 焼却費用
18年度	4,584 kg	808 kg	17.63 %	316,774 円	60,572 円
19年度	3,668	653	17.80	323,688	45,604
20年度	3,444	702	20.38	253,114	42,819

④取出し堆肥（一次処理物）の利用先

津村団地の住人が住宅の庭の植木や家庭菜園、近隣の農家において利用した。

⑤費用対効果について

維持管理等の費用に253,114円掛かったのに対し、生ごみ焼却費用が42,819円削減された。

（注）20年度の削減された焼却費用については、平成19年度伊勢広域環境組合可燃ごみ処理単価12,433円/tで算出した。

(5) 廃食用油回収事業

平成21年度から市内全域を対象として廃食用油を回収し、再生利用することで、ごみの減量化、資源化を推進するとともに、地球温暖化防止と循環型社会の形成を目指すために回収容器を購入した。

①設置場所 35箇所（拠点ステーション・公共施設ほか）

②回収容器 35個（内訳）400ℓ・8個、300ℓ・12個、100ℓ・15個

5 排出環境の整備

(1) 資源拠点回収ステーション設置事業

資源ごみの分別回収の充実に伴い、回収日まで家庭での保管を緩和することと、ごみの減量・資源化を更に推進するため、資源拠点回収ステーションを設置した。

①整備状況

整備年度	施設名	施設規模	所在地
14年度	伊勢中央資源回収ステーション	m ² 144.60	宮後2丁目630-8
15年度	宇治資源回収ステーション	34.60	宇治浦田2丁目469-50
	船江資源回収ステーション	38.34	船江4丁目1434-1
16年度	中島資源回収ステーション	38.83	中島2丁目1215
	城田資源回収ステーション	38.83	中須町493-2
	佐八資源回収ステーション	38.34	大倉町1553-311
17年度	北浜資源回収ステーション	19.1	村松町3-1
	沼木資源回収ステーション	21.17	上野町1215-1
	いせトピア資源回収ステーション	53.25	黒瀬町562-12
	宮本資源回収ステーション	26.96	前山町355-4
18年度	東豊浜資源回収ステーション	31.85	東豊浜町1475
	大湊資源回収ステーション	44.02	大湊町98-5
19年度	明倫資源回収ステーション	34.63	尾上町219
	神社資源回収ステーション	34.63	神社港420-6
	厚生資源回収ステーション	22.78	八日市場町547
20年度	早修資源回収ステーション	58.38	常磐1丁目1054-1

②工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
常磐1丁目地内	(注1) 早修資源回収ステーション設置工事	プレハブ倉庫 6棟 58.38 m ² 電気設備工事 一式 給排水設備工事一式	円 4,482,450	21. 1.30	21. 3.13

(注1) 建築住宅課施行

(2) 地域資源回収ステーション設置事業

地元自治会が管理運営を行う地域資源回収ステーション等を設置した。

①整備状況

整備年度	施設名	施設規模	所在地
18年度	鹿海町資源回収ステーション	m ² 11.62	鹿海町 238-1
19年度	上区資源回収ステーション	22.96	西豊浜町 44-2
	辻久留台資源回収ステーション	16.51	辻久留町 542-9
20年度	京町資源回収ステーション	16.51	中島 1丁目 815
	柏町資源回収ステーション	14.65	柏町 1-2
	常磐表町資源回収ステーション	14.65	常磐 3丁目 335-26

②備品購入

施行場所	物品名	購入概要	金額	着手	完了
二見町地内	二見町資源回収ステーション	プレハブ倉庫 延床面積 6.45 m ²	円 207,900	20. 8. 21	20. 9. 12
中島 1丁目地内	京町資源回収ステーション	プレハブ倉庫 延床面積 16.51 m ²	782,250	20. 9. 3	20.10.10
柏町地内	柏町資源回収ステーション	プレハブ倉庫 延床面積 14.65 m ²	737,100	21. 2. 18	21. 3. 23
常磐 3丁目地内	常磐表町資源回収ステーション	プレハブ倉庫 延床面積 14.65 m ²	747,600	21. 2. 18	21. 3. 23
御菌町地内	御菌町資源回収ステーション	プレハブ倉庫 延床面積 6.74 m ²	339,150	21. 2. 19	21. 3. 23

(3) 廃棄物集積所設置補助事業

ごみの散乱を防止するとともに住民の美化意識の高揚を図り、市民の良好な生活環境を確保することと、ごみ回収場所の集約を目的に、廃棄物集積所を設置した自治会に対し補助金を交付した。

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
18年度	件 26	基 60	円 8,770,000
19年度	31	92	11,426,000
20年度	34	133	17,234,000

(注) 上限 500,000 円を限度として、利用世帯数に応じて補助金限度額の設定をして実施した。

(4) 廃棄物投棄場管理事業

①搬入状況

市民自己搬入分として 186,530kg 公共関係搬入分として 724,240kg の搬入状況となった。

区 分	伊勢		二見		小俣		御菌		計	
	車数	搬入量	車数	搬入量	車数	搬入量	車数	搬入量	車数	搬入量
市民自己搬入分	車 122	kg 74,600	車 30	kg 4,500	車 236	kg 98,790	車 22	kg 8,640	車 410	kg 186,530
公共関係搬入分	664	462,900	5	2,100	70	81,800	92	177,440	831	724,240
計	786	537,500	35	6,600	306	180,590	114	186,080	1,241	910,770

②廃棄物投棄場使用（搬入）許可件数

区 分	伊勢		二見		小俣		御菌		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
許可証交付	件 82	円 132,890	件 24	円 18,000	件 236	円 205,000	件 21	円 14,500	件 363	円 370,390
計	82	132,890	24	18,000	236	205,000	21	14,500	363	370,390

③委託関係

埋立廃棄物の減量・資源化を推進と廃棄物投棄場を適正管理するために下記の委託事業を行った。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
朝熊町地内	ガレキ類再資源化業務委託	引取量 203.25t	円 320,118	20. 7. 4	20. 7. 17
二見町地内 ほか	廃棄物投棄場地質調査業務委託 (注)	ボーリング 5箇所 50.0m 標準貫入試験 50回 観測井設置 5箇所 50.0m	2,139,900	20.11. 7	21. 1. 9
小俣町地内	小俣廃棄物投棄場旧処分場ごみ分別処理業務委託	トロンメルによるごみ分別処理 357.14 m ³	2,849,977	20.10.29	21. 3. 27

(注) 基盤整備課施行

6 啓発・教育の推進

(1) ごみ問題対策啓発事業

ごみ減量及び資源化対策に対する市民の意識高揚を図るため、伊勢市ごみ問題市民会議等と次の啓発事業を実施した。

①伊勢市ごみ問題市民会議委員等

区 分	氏 名 等	摘 要
会 長	高橋 克彦	学識経験者
副会長	佐久間 泰子	ごみ問題に関する団体
副会長	濱千代 美智子	ごみ問題に関する団体
委 員	地域住民組織の代表	3名
〃	ごみ問題に関する団体	6名
〃	事業者等の代表	6名
〃	関係機関等	8名
計	委員	26名
参 与	関係行政機関の職員	6名

② 実施事業内容

内 容	実 施 日	参加者数等
ごみゼロの日早朝清掃	20. 6. 1	約 500 人
花火大会翌日の早朝清掃	20. 7. 20	約 400 人
伊勢おおまつり前早朝清掃	20.10. 4	約 400 人
伊勢市環境リサイクルフェア	20.11. 2	約 25,000 人
研修（講演会） 『ごみ問題と市民活動』 ～協働のあり方を考える～	21. 3. 7	委員 10 人

(2) 廃棄物減量等推進員の配置

市と市民をつなぐパイプ役として、また地域のリーダーとして 174 自治会より推薦された 377 名を廃棄物減量等推進員として委嘱し、推進員業務研修を行い、ごみ減量、リサイクルの普及・啓発、ごみの分別・出し方の指導等の役割を依頼した。

(3) 再生資源回収事業奨励金

ごみの減量化を促進し、資源の再生化を図るとともに、ごみに対する市民の意識を高めることを目的に、自治会・P T A等再生資源の回収事業を行う団体に対し、奨励金を交付した。

年度	登録 団体数	交付 団体数	回 収 量				奨励金 交付額
			紙 類	布 類	缶 類	計	
18年度	団体 146	団体 121	kg 2,665,898	kg 35,070	kg 54,226	kg 2,755,194	円 16,573,460
19年度	153	126	2,675,009	33,533	58,004	2,766,546	16,637,520
20年度	163	133	2,744,867	35,304	64,189	2,844,360	17,099,080

(注) 1 kg 当たり 6 円、リターナブルびんについては 1 本当たり 3 円の奨励金を交付した。

(4) ごみの分別等についての説明会の実施

希望する自治会や小学校等を対象に、伊勢市のごみの現状及びごみの分け方・出し方について説明会を実施した。(説明会開催回数 延べ 17 回、参加人員 延べ 1125 人)

(5) ごみリサイクルカレンダーの作成

ごみ収集日、ごみの分け方・出し方等の啓発内容を合わせて記載した「ごみリサイクルカレンダー」を旧伊勢市、二見町、小俣町、御菌町ごとに作成し、広報いせ 3 月 1 日号と同時に全戸に配布した。(20 年度作成部数合計 61,000 部 内訳：旧伊勢市 43,500 部、二見町 4,000 部、小俣町 8,500 部、御菌町 5,000 部)

○ 伊勢広域環境組合

伊勢市、玉城町、明和町、度会町の 1 市 3 町で構成する伊勢広域環境組合で、し尿等処理、火葬業務及びごみの適正処理を衛生的、効率的に行った。

1 20 年度分担金内訳

区 分	伊 勢 市 分				備 考
	し 尿	斎 場	ご み	計	
共通経費	千円 2,611	千円 641	千円 6,362	千円 9,614	平等割 10% 加入事務数割 90%
運営経費	176,075	43,194	428,977	648,246	実績割 100%
建設経費	10,290	123	260,414	270,827	平等割 10%、人口割 90%
公債費	3,090	—	280,789	283,879	元利補給金
清掃事業所負担金	—	—	394	394	
計	192,066	43,958	976,936	1,212,960	

2 20年度クリーンセンター し尿・浄化槽汚泥投入量及び処分量

月分	伊勢市分	他町分	計
	1	1	1
4	5,026,890	900,360	5,927,250
5	4,557,420	1,039,490	5,596,910
6	4,948,880	966,680	5,915,560
7	5,012,470	887,170	5,899,640
8	4,098,840	809,670	4,908,510
9	4,166,230	905,430	5,071,660
10	4,939,240	811,150	5,750,390
11	4,022,840	711,570	4,734,410
12	5,168,800	932,000	6,100,800
1	3,734,920	774,640	4,509,560
2	4,260,640	836,830	5,097,470
3	5,377,710	866,560	6,244,270
計	55,314,880	10,441,550	65,756,430

3 年度別クリーンセンター処理実績の推移

区分	18年度	19年度	20年度
	k1	k1	k1
伊勢市分	63,137	57,018	55,315
他町分	15,646	10,228	10,441
計	78,783	67,246	65,756

※市内し尿収集運搬業・浄化槽清掃業許可業者数 10 業者、許可車両台数 32 台（浄化槽専用 4 台）

4 20年度斎場利用状況

区分	市内	管内他町	管外	計
12歳以上の者	件 1,237	件 407	件 54	件 1,698
12歳未満の者	2	1	0	3
死産児	12	6	5	23
計	1,251	414	59	1,724
胞衣汚物	33	3	0	36
霊安室利用	4	0	1	5

5 年度別斎場利用実績の推移（胞衣汚物及び霊安室利用を除く。）

区分	18年度	19年度	20年度
	件	件	件
市内	1,312	1,301	1,251
管内他町	365	435	414
管外	58	67	59
計	1,735	1,803	1,724

6 ごみの中間処理施設

施設名	所在地	型式	公称処理能力
伊勢広域環境組合 可燃ごみ処理施設	西豊浜町 653 番地	全連続燃焼式ストーカー炉	240 t / 24 h
伊勢広域環境組合 粗大ごみ処理施設	"	横型回転式破砕機	30 t / 5 h
		剪断式破砕機	15 t / 5 h
伊勢広域環境組合 リサイクルプラザ	"	その他プラスチック製 容器包装圧縮梱包設備	24 t / 5 h
		びん選別設備	10 t / 5 h

清 掃 課

1 収集概要

旧伊勢市地区の一般廃棄物（燃えるごみ、金属・その他、粗大ごみ、資源物、乾電池、蛍光管及び小動物の死体）を車両 38 台、収集人員 84 名の体制（一部民間委託）で収集を行った。収集した一般廃棄物については、4 市町で構成する伊勢広域環境組合、古紙業者及び民間業者へ搬入し処理を行った。

また、ハッピーマンデー（年 4 回：海の日、敬老の日、体育の日、成人の日）、年末（12 月 29、30 日）について臨時収集を行った。

2 収集体制

(1) 収集車両

旧伊勢市地区の一般廃棄物（燃えるごみ、金属・その他、粗大ごみ、資源物、乾電池、蛍光管及び小動物の死体）の収集を 38 台の車両で行った。

収 集 車 両								計
5 t パッカー	4 t パッカー	2 t パッカー	2 t ダンプ	2 t パワー リフト	2 t トラック	軽 四 ダンプ	軽 四 トラック	
1 台	2 台	24 台	2 台	2 台	3 台	3 台	1 台	38 台

(2) 収集人員

旧伊勢市地区の一般廃棄物（燃えるごみ、金属・その他、粗大ごみ、資源物、乾電池、蛍光管及び小動物の死体）の収集を 84 名の人員で行った。

職員	嘱託職員	計
83 名	1 名	84 名

(3) 委託関係

資源物の収集補助を伊勢市シルバー人材センター、粗大ごみ収集の一部を民間業者に委託、資源びん及び紙類等（新聞・折込チラシ、雑誌・雑紙類、段ボール、紙パック、綿製品）の収集は、下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法により定めた合理化事業計画（旧伊勢市地区）に基づき、市内の 2 業者に収集運搬の業務を委託した。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
旧伊勢市地内	資源物(資源びん、紙・布類)収集運搬業務委託(その1)	資源物(資源びん、紙類等)収集運搬業務委託 一式	円 35,437,500	20. 4. 1	21. 3. 31
〃	資源物(資源びん、紙・布類)収集運搬業務委託(その2)	資源物(資源びん、紙類等)収集運搬業務委託 一式	35,437,500	20. 4. 1	21. 3. 31
〃	資源物回収等業務委託	資源物の回収及び回収袋の設置、回収袋の洗浄及び補修業務委託 一式	6,239,598	20. 4. 1	21. 3. 31
〃	町内一斉粗大ごみ収集運搬業務委託	町内一斉粗大ごみ収集運搬業務委託 一式	1,102,500	20. 4. 1	21. 2. 6

(4) 工事関係

収集における基地である清掃事業所の洗車場及びその周辺の舗装補修工事を行った。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
西豊浜町地内	清掃事業所洗車場ほか舗装補修工事	舗装補修工 112.8 m ²	円 498,752	21. 2. 13	21. 3. 11

3 燃えるごみ、金属・その他の収集状況

旧伊勢市地区を2地区(月・木曜日地区、火・金曜日地区)に分け、1地区20コース(2tパッカー車19コース、軽トラック1コース)にて、燃えるごみは週2回、金属・その他は隔週1回(水曜日)収集を行っていたが、5月に収集コースを見直し、1地区18コース(2tパッカー車17コース、軽トラック1コース)へと改善を図り収集を行った。

有料収集については、戸別に粗大ごみ等の収集を行った。

町内一斉粗大ごみ収集については、各自治会(116自治会)の要請により年1回(31日間)収集を行った。

早朝清掃、ボランティア清掃等に伴い発生するごみについては、随時収集を行った。

燃えるごみ		金属・その他		粗大ごみ		計	
延べ収集車数	収集量	延べ収集車数	収集量	延べ収集車数	収集量	延べ収集車数	収集量
車 13,890	kg 20,468,060	車 272	kg 278,700	車 1,904	kg 830,230	車 16,066	kg 21,576,990

4 資源物の収集状況

資源びん、紙類等（新聞・折込チラシ、雑誌・雑紙類、段ボール、紙パック、綿製品）、ペットボトル、プラスチック製容器包装については旧伊勢市地区を16地区に分け、約910箇所の資源回収ステーションを設置し、資源びん、紙類等、ペットボトルは月1回、プラスチック製容器包装は月2回収集を行った。また、ガラス類、陶磁器類については、市内約400箇所の回収場所を設置し、随時収集を行った。

また、視覚障がい者については、平成9年11月から自宅を隔週1回（水曜日）戸別訪問し、資源物収集を行っている。

(1) 資源物収集量

区分	資源びん	新聞・折込チラシ	雑誌・雑紙類	段ボール	紙パック	綿製品
収集量	kg 782,980	kg 874,840	kg 1,142,650	kg 549,780	kg 19,700	kg 36,200

ペットボトル	プラスチック製容器包装	ガラス類	陶磁器類	乾電池	蛍光管	計
kg 209,880	kg 869,130	kg 82,710	kg 123,290	(注) kg 31,502	kg 29,325	kg 4,751,987

(注) 乾電池については、伊勢広域環境組合への市民からの直接搬入分を含む。

(2) 視覚障がい者宅戸別収集

訪問回数 延べ275回

5 資源拠点回収ステーションの開設状況

資源物の収集効率の向上を図るため、資源拠点回収ステーションを平成14年度から順次開設している。開設状況としては、平成20年度末現在で15箇所開設（伊勢中央・宇治・船江・城田・中島・佐八・明倫・神社・厚生・北浜・宮本・沼木・大湊・東豊浜及びいせトピア）しており、支所や指定管理者での管理のほか、伊勢市シルバー人材センター及び地元自治会にステーションでの受付等の業務を委託している。また、伊勢中央資源回収ステーションについては下水道の供用開始に伴い公共柵への接続工事を実施した。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
船江4丁目 地内ほか	資源回収ステーション 受付等業務委託	資源物受付及び搬入車両誘導等業務一式	円 2,712,950	20. 4. 1	21. 3. 31

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
宮後 2 丁目 地内	伊勢中央資源回収ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入車両誘導等業務一式	円 1,100,000	20. 4. 1	21. 3. 31
宇治浦田 2 丁目 地内	宇治資源回収ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入車両誘導等業務一式	500,000	20. 4. 1	21. 3. 31
中須町地内	城田資源回収ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入車両誘導等業務一式	500,000	20. 4. 1	21. 3. 31

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
宮後 2 丁目 地内	伊勢中央資源回収ステーション公共下水道接続工事	下水道接続工一式	円 493,500	21. 2. 24	21. 3. 24

6 一般廃棄物処理手数料

(1) 粗大ごみ等の有料収集手数料として 440 件、1,884,550 円を徴収した。

また、猫等の小動物 320 体の死体収集を行い、そのうちペットとして飼われていた 51 体については、1 体につき 1,050 円の手数料として、53,550 円を徴収した。

区分	手数料	
	件数	金額
有料収集	件 440	円 1,884,550
小動物の死体	51	53,550
合計	491	1,938,100

(2) 生活保護者 5 件、火災被害者 4 件、水害被害者 2 件の収集については、一般廃棄物処理手数料の免除を行った。

区分	生活保護者	火災被害者	水害被害者	計
件数	件 5	件 4	件 2	件 11